

【60】今治市役所

〒794-8511

愛媛県今治市別宮町1丁目4番地1

人文学部社会学科 3年次生 松浦 奈実

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修の目的は二つあります。一つ目はコミュニケーション力を上げることです。私は、大学に入ってからコミュニケーション力の必要性を感じることがありました。高校生までは自分の親しい人たちの中だけで過ごすことができればそれで良かったのですが、大学生になってからはそうはいかず、高校までとの環境の違いに戸惑いました。そして、社会人になれば、今以上に初対面の人などと上手くコミュニケーションを取らなくてはいけないのではないかと危機を感じたのです。二つ目は公務員の仕事について知ることです。私は公務員志望ではありますが、公務員という仕事に対するイメージがあまり湧きませんでした。そこで、自分と公務員の仕事との適性を知る上でも公務員について知りたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私がインターンシップ研修先として今治市役所を選んだのは、受入プログラムに記載されていた研修内容に魅力を感じたからです。私が志望している官公庁の中で学生が希望する分野の部署で研修できるのは今治市役所だけでした。昨年の研修報告書を読んでみても、非常に充実した研修だったことが窺えました。また、もう一つの理由としては、地元であるということが挙げられます。市民とはまた違った立場である市の職員の方々は、どのように地元と関わっているのかを知りたいと思い、今治市役所を研修先として選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月10日（木）～8月14日（月）の5日間

研修先：今治市役所産業部営業戦略課

<8月10日（木）> 8時30分～17時30分

【人事課】研修に関する注意

【営業戦略課】イベントの説明、資料の袋詰め、イベント内容の確認

【はーばりー】会場設営

研修初日は、まず人事課の方から研修に関する注意事項の説明がありました。そのあと、研修先である産業部営業戦略課へ案内していただき、5日間お世話になる方々への挨拶を

済ませました。営業戦略課へ移るとすぐにイベントについての説明を受けました。そのイベントは『Bari Challenge University (BCU)』というもので、全国の若者が今治に集い、夢や仲間や新たな考え方に出会い、世界中で躍動する“きっかけ”となる2泊3日のワークショップイベントです。今回の研修の中心となったのがこのイベントでした。研修初日で緊張していましたが、ここでは自分から分からないことについてきちんと質問することができました。次に、イベントで配布するパンフレット等資料の袋詰めを行いました。袋詰めを終えると、イベントについての説明の際に頂いた資料の確認をしました。私は、勉強不足でBCUについて全然知らず、またこれまでイベントの運営に携わったことがなかったので、イメージを掴むために資料を読みこみました。

午後からは、次の予定まで時間が空いていたので、今治市やBCUなどについて改めて調べることにしました。そして、市役所からは一ぱりーまで移動し、BCUの会場設営をしました。

<8月11日(金)> 10時00分～17時00分

【は一ぱりー】受付準備、受付、イベント見学

2日目は、一日中は一ぱりーでの研修でした。BCUの受付開始がお昼からだったので、それまでは受付で配布するIDカードの準備や名簿の確認、受付に関する打ち合わせなどを行いました。そして、1時間半ほど受付を行いました。私は、これまで今回の受付作業のような接客をしたことがなかったので、とても緊張し戸惑って、上手く対応することができませんでした。しかし、隣で一緒に受付をしていた職員のWさんが臨機応変に対応されている姿を見て、とても勉強になり、真似ることから始めてみると、次第に感覚をつかむことができるようになりました。そのあとは、受付時間終了後も来られる方がちらほらいらしたので、その方々の対応をしつつ、会場で行なわれていたワークショップの見学をしました。

<8月12日(土)> 7時30分～17時30分

【は一ぱりー】炊き出しの補助・片付け、イベント見学、昼食の配膳・片付け

3日目も、2日目と同じくは一ぱりーでの研修でした。まず、BCU参加者へ振舞われる炊き出しのお手伝いをしました。私はお盆の配布とご飯をよそう役割を担いました。最初はお盆の配布を頼まれたのでそれだけをしていましたが、隣で課長などが交替でご飯をよそって下さっていたので、途中で交代させていただきました。私がすべきことを課長などの方々にさせてしまい、声をかけるのが遅くなってしまいました。そして、炊き出しの片付けを終え、ワークショップの見学をしました。次に、参加者へお弁当の配布とそのゴミの片付けをしました。午後からは、ワークショップの中間発表会の見学をしました。

<8月13日(日)> 7時30分～16時30分

【は一ぱりー】イベント見学、軽食配布、バスへの誘導

【今治地域地場産業振興センター】会場準備、イベント見学、賞状・景品授与の補助、会場片付け

4日目は、は一ぱりーでワークショップの見学から始まりました。お昼からの発表会に

向けて、参加者の熱がとても伝わってきました。ワークショップの見学の合間には、軽食の配布も行いました。次に、発表会の会場である今治地域地場産業振興センターへ移動するために、参加者のバスへの誘導を行いました。大きな声で指示を出すのは恥ずかしかったですが、しっかり誘導することができました。そして、私も今治地域地場産業振興センターへ移動しました。

移動してからは、会場の準備をし、発表会を見学しました。発表会のあとは、引き続き表彰式がありました。表彰式では、賞状・景品授与の補助を行いました。私は会場に着いてから補助をすることを知らされたのですが、その説明を受けた際に、きちんと理解できていないのに「わからない」ということを伝えられず、曖昧な返事をしてしまいました。そのときは職員の方々がそれに気づいて、シミュレーションして教えて下さりました。職員の方々の気遣いに助けられました。表彰式後は、会場の片付けを行いました。ここでは、4日間イベントに携わった中では一番積極的に動くことができたと思います。

< 8月14日（月） > 8時30分～17時

【営業戦略課】 報告書作成、タオルの枚数確認・振り分け

最終日は、3日間のイベントを終え、職員の方々がホッと胸をなでおろしているような感じがしました。イベント中は常に気を張っている様子がうかがえたので、ひどく疲れたのだと思います。この日は主に研修報告書の作成を行いました。また、報告書作成の合間には抽選の景品に使われるタオルの枚数確認と、抽選の結果どの色の景品をどのタオルにするかを数に考慮しながら振り分けました。

4. インターンシップ研修を終えて

私は今回の研修を通して、コミュニケーション力の無さを痛感しました。受付の際も職員の方々に話しかけていただいた際も、頭が真っ白になってしまったり、きちんとお返事することができなかつたりしました。しかし、この5日間たくさんの方々と会話していく中で、私は初対面の人などと話すことに慣れていないだけだと気づくこともできました。また、職員の方々に伺った話によると、今回研修を受け入れて下さった営業戦略課は市役所の中でも一番公務員らしくない課であるそうなので、普通ではできない経験ができて光栄でした。

最後に、今治市役所の皆様、イベントで大変お忙しい中研修を受け入れて下さり、誠にありがとうございました。お話もたくさん伺うことができ、大変勉強になりました。本当に優しい方々ばかりで職場の雰囲気にも魅了されました。5日間で経験させていただいた全てのことに、心より感謝申し上げます。

【61】愛媛県警察本部

〒790-8573

愛媛県松山市南堀端2番地2

法学部法学科 3年次生 土岐 七海

1. インターンシップ研修の目的

私は将来、警察官の職業に就きたいと考えています。そこで、ホームページやパンフレット、説明会などでの口頭の説明ではその仕事を詳しく知ることはできないため、実際にインターンシップへ参加させていただき、体験を通して警察官という仕事をより具体的に知ることを目的としていました。また、警察の方々とは接することで、仕事に対してのやりがいや楽しさを知り、さらに、外からでは分からない大変さなどに気づくことを目的としていました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、警察の仕事に興味があり、将来は警察官の仕事をしたと考えていました。そこで、インターンシップに参加させていただき、実際に警察官の仕事を見学・体験させていただくことで、少しでも具体的に仕事の内容がわかると思いました。ここでの研修が将来に繋がっていくと思い、愛媛県警察本部を研修先に選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

今回のインターンシップ研修は、5日間で様々な部署を回り見学・体験をさせていただきました。インターンシップ期間中は、毎日その日の研修のレポート作成を行っていました。

	午前	午後
1 日 目	<ul style="list-style-type: none">・インターンシップ開会式、自己紹介・警衛業務説明・災害警備教養 災害派遣体験発表聴講 原子力災害用資機材取扱体験	<ul style="list-style-type: none">・警護訓練体験・機動隊訓練見学・体験 降下訓練、潜水訓練、 装備資機材取扱体験・大盾操法体験
2 日 目	<ul style="list-style-type: none">・高速隊業務説明及び車両乗車体験・不審者訓練見学	<ul style="list-style-type: none">・鑑識課業務体験 指掌紋採取及び鑑定体験 足跡採取体験 操作用似顔絵作画実習

		・科学捜査研究所での予試験等体験
3 日 目	・松山西署庁舎及びみつ交番見学 ・白バイ・オフロード車による訓練 見学 ・交機隊の方々と昼食	・音楽隊訓練体験 ・薬物乱用教室見学 ・無線通信施設見学 ・警務課業務説明
4 日 目	・機捜隊業務説明 ・交通規制課業務体験 交通管制センター見学 現地調査体験 ・警察学校昼食体験	・職務質問体験 事案想定によるロールプレイング ・警察学校 初任科生とのフリートーク 施設見学
5 日 目	・遺失届・拾得物受理体験 ・装備品使用体験及び 制服着用体験 ・模擬 110 番体験	・レポート作成 ・意見交換会 ・インターンシップ修了式

この5日間で、様々な部署を回って見学・体験をさせていただき、その中でたくさんの職員の方とお話をする機会がありました。

説明・見学の後には、実際に体験させていただくことが多く、警察の様々な分野の仕事について身をもって知ることができました。

また、常に警察の人事係の方々が付いてくださったため、わからないこともすぐに質問をして解決することができました。

4. インターンシップ研修を終えて

当初の目的であった、警察の仕事をより具体的に知るということは、5日間という短い間でとても充実した研修内容を組んでくださったので、十分に達成することができました。普段は見たり入ったりできないようなところにも行かせていただき、そこで見学・体験したことは、とても貴重であり、勉強になりました。

次に、2つ目の目的としていた警察の仕事に対するやりがいや楽しさを知ること、また、外からでは分からない仕事の大変さなどに気付くということだったのですが、たくさんの警察職員の方々とお話しするなかで達成できたと思います。

様々な方々とお話しする中で、“県民のため”というのが皆さんの仕事に対する原動力となっているのではないのかと考えました。それぞれが警察という仕事に対して“誇りと使命感”をもって活動しているのだと感じました。

私は、この5日間のインターンシップ研修を通して、様々な人たちと関わっていく中で、警察の方々の仕事に対する姿勢を見ていて、とてもかっこいいとっていて、私の警察になりたいという気持ちは研修をしていく中で日に日に増していました。

また、同じインターンシップ研修生として一緒に研修を受けていた方々とお話をし、自

分の甘さを知ることができとてもいい刺激になりました。お互いを高め合うことのできる仲間に出会えたことは私にとって、自分自身を奮い立たせるためにもとても良い機会になったのではないかと思います。

このインターンシップ研修でのなかで、課題も見つかりました。中でも、積極的に行動していくことです。研修目標の中で一番に課題として挙げていたのですが振り返ってみるともっと積極的に動けたのではないかと思います。慣れない環境の中で委縮してしまうことが多々あったので、どんな環境の中でも積極的に行動できるよう取り組んで改善していかなければならないと思いました。

この研修で、松山西署庁舎を訪れたときに署長さんとお話する機会があったのですが、その中でとても印象に残っていることが“常に目標を持つこと”とおっしゃられていたことです。一人一人が目的を持つこと、さらにその目標・目的を達成したときに、そこで終わりなのではなく、そこからさらに達成したことで何がしたいのか、達成するたびに一つ一つ目標を作っていくことが大切であり、やる気を損なわせないように、どれだけそのやる気を維持させていくことができるかが自分を高めていく中で必要なものだと思います。私は、目的を達成してしまうとそこで終わってしまうところがあるので、そこで満足せずにもっと一つのことを追及していくことができればよいなと思いましたし、日々の学校生活の中でも活かしていけることだと思うので、積極的に取り組んでしっかりとした明確な目標を作っていきたいと思いました。

私は、今回の愛媛県警察でのインターンシップ研修を通して、5日間の間、警察の方々との時間を過ごさせていただき、警察という仕事に誇りを持ってお仕事をされているのを見てきて、その姿は憧れであり、また私の目標とする姿だと改めて感じました。今回の研修をしていく中で、警察官になりたいと思う気持ちがさらに高まりました。関わっていただいた方々のお話や姿を見て、自分も自分の仕事に誇りを持てるような仕事につきたいと思いました。また、今回の研修で、将来の選択肢を広げられたと思います。これから自分の将来のために、1日も無駄にすることが無いようにもっともっと努力をしていきたいと思えます。

【62】愛媛県 公営企業管理局 総務課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

経済学部経済学科 3年次生 沖嶋 聖雅

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップに参加した目的は3つあります。1つ目は公務員になりたいという夢を叶えるために、まず業務内容や職場の雰囲気を知ることによって将来の理想像を見つけることです。2つ目は様々な方と接する中でコミュニケーション力を向上させ、ビジネスマナーをきちんと身に付けることです。そして現在の知識・能力、マナーが社会にどれだけ通用するのかを実感するためです。3つ目は現在アルバイトで接客業を行っていますが、「社会人とはどういったものなのか」を仕事とアルバイトの違いを実際に体験することで知りたいと思いました。これらの目的を通して、残りの学生生活や就職活動に活かし、自分自身のスキルアップを図りたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は大学卒業後に地元愛媛で公務員として働くことを志望しており、公務員とは何か知るためには実際に官公庁での研修で話を聞くことや業務を体験することで、より目標に近づけるために愛媛県庁を選択しました。また愛媛県庁の中で多くある課の中で公営企業管理局総務課を選んだ理由は、私は高校で簿記や会計について学んでいく中で興味を持つようになり、実際にどのように使われているのかが知ることができ、簿記の知識や財務関係などに関わる仕事ができるので選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月17日（木）～8月22日（火）

研修先：愛媛県公営企業管理局総務課

研修時間：8時30分～17時15分 ※休憩60分

日付	研修内容	研修場所
8月17日（木） 9:00～17:15	減価償却費の記入 定期預金等運用処理状況の記入 預り金一覧表入力	愛媛県庁公営企業管理局

8月18日(金) 8:30~17:15	準備品出納保管簿チェック 会議資料作成 伝票作成	愛媛県庁公営企業管理局
8月21日(月) 8:30~17:15	準備品出納保管簿チェック 公営企業管理局実務担当者会	愛媛県庁公営企業管理局
8月22日(火) 8:30~17:15	固定資産台帳 登録・入力 減価償却費の計算 準備品出納保管簿チェック 愛媛県立中央病院の見学	愛媛県公営企業管理局 愛媛県立中央病院

・8月17日

まず、公営企業管理局総務課の職員さんにご挨拶し、インターンシップの日程についての説明を受け、いよいよ実習が始まったという緊張感が高まりました。その後、固定資産原簿に減価償却費の記入を行いました。公営企業管理局では他の課とは異なり、勘定科目を用いて伝票作成を行っており、私の想像していた通り簿記での知識を活かすことができたので、仕事を通しての楽しさを感じることができました。また、公営企業管理局では電気事業・工業用水道事業・病院事業の3つの事業を行うことにより、地域経済の振興を図り、県民の福祉、医療に対応できるよう医療環境の充実も務めていることが分かりました。

初日は私の想像していた通り、パソコンに向き合っただけの作業が多く普段からデスクワークに慣れていないため、パソコンの画面ばかり見ることがとても大変でした。またパソコンを利用することがほとんどなので、普段からタイピングの練習や基礎知識を身に付けておく必要があると感じました。

・8月18日

2日目の午前には準備品出納保管簿の消耗品等のチェックを行いました。これは、H28年4月1日の改正により消耗品と記載する基準が変わったことで帳簿の一つひとつの項目を確認していきました。最初に帳簿を見たとき量がとても多く高さが約10cmあり、終わりが見えないくらいでとても驚きました。午後からは月曜日の会議のために設営や会議資料の作成を行いました。資料をコピーする際、人数分の資料を分け1部ずつホッチキスで留める作業は数が多くつらいと思っていたけれど、コピー機から出てきた資料には1部ずつにホッチキスがきちんとされており、人の労力を使わず機械がしてくれており、そのような機能が備えられているということにとても驚きました。その後、午前と同じように帳簿のチェックを行いました。この日の作業は淡々としており、事務の仕事とを感じるものばかりでした。

・8月21日

3日目は10:00から15:00まで公営企業管理局担当者会に参加させてもらい、公営企業

とは何なのか、庶務・給与関係、旅費関係、入札・契約関係、会計・経理関係について勉強しました。公営企業会計と一般会計の違い、収益的収支と資本的収支の違い、損益計算書と貸借対照表の原則について知識を深めることができました。非課税、不課税の違いなど今まで聞いたことなかった用語も多く出てきたので、もっと事前学習をする必要性や知識を身に付けていかなければならないと思いました。その後からは前回同様に帳簿のチェックを行いました。仕事の基本は同じことの繰り返しであり、社会人になるまでにそれに耐える忍耐力を鍛えていかなければならないと思いました。

・8月22日

4日目はパソコンを用いて、減価償却費の計算・登録、固定資産台帳への登録・入力を行いました。これを入力する際に耐用年数期間は自動的に計算されるため容易であるけれど、一方で間違えたまま入力することで違う計算が継続されるので、恐ろしい一面もあり慎重にする必要がありました。また病院については固定資産の数が多いのでパソコンで全てを管理している。しかし、他の2つについては手書きでの管理でとても時間のかかる作業だと感じました。午後からは県立中央病院に行き、会計・医事の説明を受け、施設見学を行いました。病院と県職員の関わりが最初分からなかったけれど、会計担当者の話を聞いていくうちに互いになくてはならない関係を築いていることが分かりました。医事担当者からは病院の運営理念や業務についての説明があり、新たな知識を身に付けることができました。病院を見学する機会はなかなかないと思うので、良い経験になりました。

4. インターンシップ研修を終えて

4日間という短い期間ではありましたが、様々なことを体験することができました。基本的にはパソコンを利用することが多く、また細かく地味な作業が多かったですがひとつひとつをきちんと確認しながら作業することが大切であると感じました。最初は緊張していましたが、少しずつ環境に慣れて最終的には自分から行動できるようになりました。また、若手職員からは今までの経験や公務員試験に向けてのアドバイスをしてもらい、公務員になりたいという気持ちを高めるきっかけとなりました。今回のインターンシップでは得ることがとても多く、自分自身大きく成長でき、公務員というものが明確な目標になりました。

最後になりますが、インターンシップを受け入れてくださった愛媛県公営企業管理局総務課の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。今回の経験を活かし、これから先の就職活動・公務員試験の勉強を頑張っていきます。本当にありがとうございました。

【63】愛媛県 中予地方局 総務県民課

〒790-0873

愛媛県松山市北持田町 132 中予地方局

経済学部経済学科 3年次生 清藤 雄太

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップに参加した目的は大きく2つあります。

1つ目は現在公務員試験に向けて学内講座などで勉強を進めるに当たってのモチベーションを見つけること。下調べや研修を行う以前は、漠然と公務員を志望していたので、これから1年間合格を目指して勉強を続けることに不安を感じ、研修を希望しました。

2つ目は研修を通して役所で働く職員さんがどのような業務を行っているのかを知ることです。地域民の為の業務としか理解していない私が、深く公務員について知る良い機会でもあったと思います。

2. インターンシップ研修先の選択

研修先を愛媛県中予地方局に決めた理由は、現在私が愛媛県松山市に住んでいるからです。私自身は香川県出身ですが大学入学から2年間以上松山で一人暮らしをしているので地元よりも身近に感じました。愛媛県庁と地方局を合わせるとかなりの数の部署がありましたが、正直なところ違いはよくわかっていませんでした。県民の消費生活の安心や青少年育成などと概要に書かれており、私の生活にも関わり興味を持ちやすいと思い、総務県民課を研修先として希望しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修は8月7日から8月10日の4日間でした。主な内容は、立ち入り調査やセミナー、講演会への同行、運営補助でした。立ち入り調査は専門的な知識が必要になるので事前学習の時間を割いて下さり、大まかな内容や規制の対象となるものを説明していただきました。

初日の8月7日は台風の接近により警報が出ていました。研修開始時刻に10分前に到着し挨拶をしました。主に研修や同行を受け入れてくださったのは総務県民課の県民生活係のみなさんでした。4日間のスケジュールを組んでくださっていましたが台風の影響により当初予定されていた消費者教育研修は延期になるなど変更がありました。県民生活係の隣には防災対策室のデスクがあり、朝から忙しそうに対応に追われていました。午前中は庁舎の中を案内していただき局長室や研修をご一緒させていただき地域政策課に挨拶をし

ました。その後、中予地方局や総務県民課の業務内容を係長より説明していただきました。愛媛県には20の市町があり、それを県庁がまとめ上げることは困難です。そのため、県を3つの地域に分け、県民の意見を拾いやすくすることが中予地方局の仕事だと係長は仰っていました。その中でも生活県民係は青少年育成、自然公園（環境）、男女共同参画、消費生活についての業務を請け負っており、県民生活に直結していると感じました。午後からは地域政策課の研修生と中予地方局の若手職員さんとお話しする機会をいただき、仕事のやりがいや大変な業務から公務員試験対策などここでしか聞けないことなども答えていただきました。話しやすい空気で貴重なお話しを聞くことができました。

2日目は青少年保護についての業務でした。青少年保護とは青少年（6～18歳の男女）の健全な成長の悪影響を与えるものを取り扱う店舗に対し、条例に基づいた適切な販売方法を指導、制限を行うものでした。実際に立ち入り調査にも同行させていただき図書やゲーム（主に18禁のもの）、刃物や深夜営業店への青少年入店制限などを抜き打ちで調査を行っていました。組合加盟店などは調査対象にはならず、機密事項が多いのでかなり複雑な条例である印象を受けました。午後からは砥部町で行われる消費者支援講座の運営補助でした。砥部町から依頼を受け県民生活係の職員が自ら講演をすることもあれば講師を招くことも多いそうです。今回は対象の年齢が高く（60歳以上多め）インターネットやスマートフォンの基礎的なことを俳句やイラストを使っていました。対象の年齢層やその時々々の流行りなどを考慮した講演内容を作成するそうです。

3日目は朝から移動して、松山市にある県消費生活センターで小学生を対象とした科学教室の運営補助でした。普段飲んでいるジュースにどれだけの砂糖、着色料が含まれているかなどの実験を通してより良い消費生活を送るためにはといったことを学んでもらおうという取り組みでした。愛媛県ではSNSやYou Tubeを活用、マスコットキャラクターを作成しPRするなど消費者教育に力を入れている印象を持ちました。午後からは中予の高校生と知事の意見交換会（知事と愛顔でトーク）の運営を手伝い、傍聴させていただきました。愛媛県で育った高校生ならではの質問で私自身もとても勉強になりました。愛媛国体を直前に控えた時期に知事のお話しを聞ける貴重な機会でもありました。

最終日は特定商取引についての講義を受けました。特定商取引とはインターネット通販や訪問販売に関する条例であり、一人暮らしをしている私にとっても他人事ではありませんでした。次に景品表示についての立ち入り調査に同行させていただきました。広告やWebサイトに掲載されている商品情報に偽りはないか、度を超えた情報などの調査でした。これも青少年保護条例と同じく抜き打ちでしたが、店舗側にもこちらの身分を明かさずに一消費者目線での調査でした。地域住民からの報告などがあればそちら優先で調査をするそうです。この調査に同行することでこれからの私自身の消費者としての目線に大きな影響があると思いました。

4. インターンシップ研修を終えて

4日間という短い期間でしたが、県職員についてインターンシップ研修ならではの経験でした。本当に県民のために働くという意味を理解できた気がします。私が研修に参加させていただいた部署では主に県民消費生活の向上についてでしたが他にも様々な部署が県民生活や愛媛県のPR、特に間近に迫った愛媛国体をきっかけに盛り上がるように企画、実行などを行っていました。国体を控えた時期に研修に参加できたことは大変貴重な経験でした。

これから公務員試験の勉強を続ける上で私にとってプラスになりました。愛媛県をより身近に感じるきっかけであり、愛媛県で働くことに大きな魅力を感じました。これまで以上に勉強に力を入れ、希望する将来を掴み取れるように気合を入れ直します。

最後になりましたが、お忙しい中研修を受け入れて下さり、丁寧にご指導してくださった愛媛県中予地方局総務県民課、地域政策課の皆様、本当にありがとうございました。

【64】愛媛県 企画振興部 文化・スポーツ振興課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

人文学部英語英米文学科 2年次生 石崎 慧

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した理由は3つあります。1つ目は公務員の仕事を理解し、体験してみたいと思ったからです。私は公務員と民間企業で迷っているので普段アルバイトでは経験できないことを経験したいと思っていました。2つ目は就職活動前に、自分にはどのような職業が向いているのか知りたかったからです。3つ目はインターンシップ研修に参加することで私に足りないものを見つけ、残りの大学生活を充実したものにしたいと思ったからです。公務員として働いている方に仕事内容以外のことも質問し、大学生の時のことなども教えていただきました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、公務員と民間企業で迷っているため、官公庁を選びました。民間企業のインターンシップには来年参加してみたいと考えています。また、合同説明会の時に県庁は民間企業を相手にも仕事をしていると教えていただいたとき、興味を持ちました。私はスポーツが好きで、以前から企画にも興味があったので企画振興部文化・スポーツ振興課を選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月28日（月）～9月1日（金）

日程	場所	内容
8月28日	管理課	施設見学・案作成
8月29日	管理課・文化振興課	施設見学・事務作業
8月30日	文化振興課	事務作業
8月31日	スポーツ振興課	案作成
9月1日	スポーツ振興課	案作成

<1日目>

初日は皆さんに挨拶した後、午前中は萬翠壮とひめぎんホールに見学に行きました。萬翠壮は休館日だったこともあり映画の撮影が行われていたので見学させてもらいました。

その後、館内も見学しました。ひめぎんホールではメインホールとサブホールの構造を説明してもらった後、改修工事のことや、ひめぎんホールが建設された時と現在では、デザインの重視するところが違うことなどを教えていただきました。午後は県庁に戻り施設利用者を増やすための企画を考えました。企画を考えるにはその施設の事を詳しく理解しておくことが大切だと感じました。その後、職員用のブログのイベント情報の更新をしました。興味を持ってもらえるように工夫することが大変でしたが、なんとか更新することができました。

<2日目>

午前中は生活文化センターの見学に行きました。和室・洋室・調理室・大広間などがあり、ダンス・料理など様々な教室が行われていることがわかりました。また、大きな日本庭園もあり奥には茶室もありました。そこではお茶会が開かれていました。県にはこれらの施設や学校など多くの建物があるので優先順位をつけて対応していかなければならなくて、最優先は学校の耐震化だと教えていただきました。午後からは文化振興課で夏休み中に行われたイベントのアンケート集計と、えひめの文化イベント情報の更新、登録をしました。パソコンを使っての作業が中心なのでパソコンのスキルは必要だと感じました。

<3日目>

午前中は2日目の続きでえひめの文化イベント情報の更新、登録をした後、文化振興課での主な業務内容を説明していただきました。文化振興課では愛媛の文化の創造と継承を目標に仕事をされています。また、愛媛県庁では「愛顔」をテーマに仕事をしていることがわかりました。午後は「愛顔感動ものがたり」の作品を拝見させてもらいながら作品の整理を行いました。作品は県内だけでなく県外や海外からの応募もありました。印象に残る作品が多数あり、感動するものばかりでした。愛媛の文化や伝統文化の体験はとても貴重なものだと思います。

<4日目>

午前中はスポーツ振興課の仕事内容を説明していただきました。スポーツ振興課では、愛媛のプロスポーツの担当、東京オリンピックに向けての活動、日本で開催されるラグビーのワールドカップに関しての仕事、生涯スポーツなど幅広い仕事をされています。その後、東京オリンピックに向けてのラジオ体操プロジェクトの案を考えました。全国に向けてのものであったので愛媛らしさを出せるように意見を出して行きました。午後はその事についての会議があったので、会議室の準備をし、会議にも出席しました。その後、東京オリンピックを全国で盛り上げるために開催されているイベントや東京オリンピックに向けての課題などの資料を見せていただきました。

<5日目>

5日目は公務員の事について教えていただいた後、愛媛のプロスポーツ（バスケットボール・サッカー・野球）の観客を増やすための案を考えました。既存のファンが楽しめるイベントだけでなく、新しいファンを増やすためのイベントを考える必要がありました。参考資料を何度も見直し意見を出しました。意見がでにくい時などは、小さな事から書いていき、少

しずつ意見を膨らませていき、できるできないは別としてなるべく多くの意見を出すようにしました。

4. インターンシップ研修を終えて

インターンシップ研修に参加するまで公務員の仕事を詳しく知らなかったので、5日間毎日がとても新鮮でした。私が研修で一番感じたことは、責任を果たすことの重大さです。社会人と学生では責任の重さが大きく違うと感じました。働くということは、自分の仕事に責任を持ち確実に、丁寧にこなしていくことだと学びました。また、職場はめりはりがきちんとついていて、とても明るい雰囲気でした。時には冗談を言いながら楽しそうに仕事をされていて、とても明るい雰囲気でした。時には冗談を言いながら楽しそうに仕事をされていて、とても明るい雰囲気でした。時には冗談を言いながら楽しそうに仕事をされていて、とても明るい雰囲気でした。仕事内容以外のことも教えていただきました。公務員試験に向けての勉強のことや大学生活で今のうちにしておくこと、就職活動のこと、以前民間企業で働いていた方には公務員と民間企業の違い、市役所と県庁で働いたことがある方には市役所と県庁の仕事内容の違いなど様々なことを教えていただき、とても勉強になりました。

5日間という短い期間でしたが、毎日があっという間でとても充実していました。得たものはとても大きかったです。今回のインターンシップ研修で学んだことをこれからの大学生活に生かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

【65】愛媛県 県民環境部 男女参画・県民協働課

〒790-0001

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

経済学部経済学科 3年次生 谷口 涼

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は2つあります。1つ目は、自分が目指す業種についてより深く知ることです。仕事の内容や雰囲気など、実際に自分の目で見なければ分からないことが必ずあると思い、参加しました。2つ目は、実際に働かされている社会人の方々と接することです。自分の学生生活では特定の社会人の方と接する機会しかなく、多くの方と関わることでこれからの自分の就活などにいきてくると考えました。

2. インターンシップ研修先の選択

1つの大きな理由が、私が公務員を志望しているからです。自分たちが暮らす愛媛県のためにどういった取り組みをしているのか、どういった思いで地域と接しているか学ぶことができると思い、愛媛県庁を志望しました。また、授業などで女性の社会参加が遅れていることや生産年齢人口が減り続けていることを何度も耳にし、県という規模ではどういった取り組みをしているか知るために男女参画・県民協働課を志望しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：9月11日～9月15日（5日間）

研修先：愛媛県県民環境部県民生活局男女参画・県民協働課

・9月11日

初日は、課のみなさんに挨拶をした後、県庁内の見学をしました。本館、第一別館、第二別館と全体を見学した後、会議室で男女参画・県民協働課の取り組みなどの説明を受けました。まず県民協働グループの説明を受け、青少年犯罪の現状や地域貢献の活動を行うNPO法人との連携について学びました。NPO法人は様々な条件をクリアした上で成り立っており、数の多さに驚かされました。午後からは男女参画グループの説明を受け、女性の社会活躍を推進していることや、DVなど社会問題の解決にも取り組んでいるという説明を受けました。また、松山大学が働きやすい職場を目指し「ひめボス宣言」をしたことなど、身近なところでも取り組みが行われていることを知りました。NPO法人や男女参画など、聞いたことがあるようで深く意味を知らなかったことについて丁寧に説明をしていただきました。

・9月12日

2日目は、3日目に予定されていた企業への取材準備から始まりました。愛媛県で女性活躍を推進する企業へ取材に向かう職員の方に同行し、その中で自分たちにも質問の時間を設けていただけるということで、企業や女性活躍の現状について調べ質問を考えました。その後、報道機関に贈る女性リーダー育成ワークショップというイベントの告知の作成などを行いました。また、昼の休憩時間は研修担当者の方が若手職員の方と交流する機会を設けてくださり、いっしょに食事をしながら色々な質問をすることができました。仕事中に会話するのは違い、柔らかい雰囲気の中様々な質問ができたことは、本当に貴重な機会になりました。

・9月13日

3日目は2日目の準備をもとに三浦工業株式会社への取材に同行しました。三浦工業株式会社は積極的に女性の活躍を推進している企業で、取材先では女性の活躍を推進するダイバーシティ推進課の方や人事担当の方に質問することができた他、実際の取材の雰囲気を体感することができました。取材から帰った後は、「えひめ男女共同参画通信」へ掲載するため、結果の取りまとめを行いました。具体的には録音した取材内容を質問内容ごとにwordでまとめる役割を担いました。自分たちが関わった取材が掲載されるということで少しですが達成感を味わうことができました。

・9月14日

4日目は男女参画・県民協働課から委託された愛媛女性財団が管理する男女共同参画センターに移動しました。男女共同参画センターを見学した後、当日行われたリーダー養成セミナーの会場準備を行いました。午後からは実際にリーダー養成セミナーに参加しました。社会人を対象としたセミナーだったため、初対面で業種も様々な社会人の方々とグループを組んで意見を交えることができ、貴重な体験をすることができました。セミナー後は会場の片付けも行いました。

・9月15日

最終日も同じく男女共同参画センターに移動し、この日は女性リーダー育成ワークショップが行われたため午前中は会場準備を行いました。前日に続き県が主催のイベントなのですが、会場準備や片付けという一見地味で体力が必要な作業も、県のイベントでは公務員の役割であるということを改めて感じました。午後は女性リーダー育成ワークショップに参加したのですが、やはり男性は自分ともう一人のインターンシップ生だけという状況でした。しかし、女性リーダーを目指す方々は周りへの配慮もあり、グループでも温かく迎えていただきました。高い能力の方たちに囲まれ、とても刺激の多い一日になりました。

4. インターンシップ研修を終えて

5日間のインターンシップ研修の中で、自分に足りないものが多く見付き、就活や社会人になることへの意識が大きく変わりました。例えば、取材に同行した時応接室に招か

れましたが、マナーが分からず付いていくことで必死でした。このような経験をこの時期にできたことは良かったと思います。また、今回参加したセミナーやワークショップは社会人を対象にしたものだったため、年齢や職種も様々な社会人の方々と多く出会うことができました。学生とは違う目線で意見を交えることができ、貴重な経験でした。また、様々な職種の社会人の方と話げできたことで、これからの学生生活でもっと視野を広げて行動していこうと考えるようになりました。普段の学校生活では限られた中での交流がほとんどで、初対面の社会人の方々と多く関わることでできたこの5日間で、学校では受けることのできない様々な刺激を受けることができ、インターンシップ研修に参加して良かったと思っています。

最後になりますが、男女参画・県民協働課の皆様、お忙しい中インターンシップ研修を受け入れてくださり、本当にありがとうございました。貴重な時間を使い、自分に丁寧に指導、説明して下さりとても感謝しています。様々な機会を設けてくださり、今回得ることのできた経験を必ず今後活かしていきたいと思っています。

【66】愛媛県 経済労働部 労政雇用課雇用対策室

〒790-8670

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

人文学部社会学科 3年次生 豊田 尚己

1. インターンシップ研修の目的

私が今回インターンシップ研修に参加した理由は3つあります。1つ目は、自分のスキル、マナーについて知ることです。自分のスキル、マナーがどれほどなのか実際に働く場に身を置くことで知りたかったからです。2つ目は県庁の仕事について知ることです。私は公務員志望なので実際に県庁に行くことで、仕事内容の理解、職場の雰囲気を知り、これからの意欲を高めていきたいと思ったからです。3つ目は社会人としての自覚・責任について考えることです。社会人として自覚・責任ある行動は必用不可欠で、インターンシップの場で意識して実践してみたかったからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私が今回愛媛県庁を志望した理由は公務員を目指しており、実際の県の仕事を見て、やる気向上に繋がったことと、職場の人の声をきいて県の仕事について理解を深めたかったからです。また、雇用対策室を選んだのはこれからの就職活動していくなかで就職支援に関する情報や為になることを得られると思ったからです。

3. インターンシップ研修の内容

インターンシップ研修の期間は5日間でした。うちの3日間をジョブカフェ愛ワークで研修を行いました。他の大学の人と二人でした。

・1日目

まず、挨拶と自己紹介を行いました。次に県庁内の案内をしていただきました。県庁事態初めて入ったのですがすごく新鮮でした。また、様々な部署が存在して県の仕事に取りかかっているとわかりました。次に、県内の雇用情勢・雇用対策室の取り組みについて説明を受けました。次雇用対策室が行ったイベントの報告を愛媛県庁のホームページに載せる作業をしました。実際に載るということで慣れない作業だったけれどもう一人の研修生と協力して完成させました。

・2日目

2日目から3日間ジョブカフェ愛ワークで研修を行いました。まず、キャリアコンサルタントとい就職の支援、相談を受ける方とお話インタビューを行いました。愛ワークにつ

いて、実際の仕事内容について聞くことができました。インタビューではメモを取ること、並行して質問を考える難しさを感じました。

次に、職業適性検査を受けました。それをもとにキャリアコンサルタントの方とお話ししました。仕事内容について理解したともに自身の職業診断もしていただきよかったです。次に U ターンセンターの仕事について説明を受けました。県の雇用をよくするために様々取り組んでいると知りました。次に、若年者の就職支援と取り組みについての話し合いに参加しました。意見や質問を求められましたが、上手く答えることができませんでした。就職への意識がまだまだ低いと感じました。

・ 3 日目

最初に、伊予市役所から出向中の方から公務員についてのお話をしました。実際に公務員として働くことだけでなく社会人として必要なことについてお話していただきました。社交性、言われたこと以上のことをする、できないことは言うとうい3つの視点が大事だと学びました。次にセンター長とお話・インタビューをしました。緊張感がありましたが気さくにお話や、質問をしてくださりました。長として感じることやこれからしていく指針など聞いて新鮮で貴重な体験でした。次に、セミナーのお手伝いをしました。時間が空いたので女性のキャリアコンサルタントの方と女性の雇用について話しました。女性の雇用が求められる今、感じていること、生の声を聞くことができました。

・ 4 日目

まず、職場見学に行くにあたっての打ち合わせを行いました。職場の人の質問に答えることができず事前準備の少なさを感じました。その後、職場体験へ行かせていただきました。職場の雰囲気や仕事内容を目で見て感じることの重要性を感じました。自分の持っているイメージとは異なる発見もあると知ることができました。次に受付業務、かかりつけ相談の体験をしました。受付では職場の顔として来訪者に失礼の内容に心がける、抵抗感を与えない接客が大事であると思いました。かかりつけ相談では就職の相談を受けてくださり、これから就職に向けてどう過ごしていくか考えることができました。

・ 5 日目

最終日は、県庁で与えられた課題に取り組みました。「女性の就労促進」という県も抱えている問題について、現状、課題、施策内容を考えました。特に施策内容を考えるのに苦労しました。メリット・デメリットを考えながらより良い策を考えました。最後に課題発表を職場の方の前でしました。発表では書いて資料を読むだけでなくよりプラスで情報を提示しわかりやすくすることが必要だとアドバイスを頂きました。

4. インターンシップを終えて

5日間のインターンシップ研修で働く人のインタビューや様々な業務体験、職場見学のなど貴重な体験をすることができ充実したものになりました。充実したものとして終わるのではなく、この経験をいかにして自分に反映かが大事だと思いました。自身の課題も見つけることができたので、今回を機に日々授業に対する取り組みや、学外では積極的に説

明会やセミナーを受け就職への意識を高めていきたいです。

インターンシップ生がもう一人いたのも非常に良かったと思いました。積極的に質問意見をされていて刺激を受けました。一人だと気付かなかったことも多くあったと思います。

目標としていた自分のスキルについて知ることもできました。マナーはできたと思いますが、普段から気をゆるめずしっかりとしていきたいです。働く職場についてはたくさんお話をさせていただき理解することができました。また、自覚責任のある行動をするために、事前準備や情報把握が必要だとお話や仕事ぶりを見る中で気づけました。

最後にお忙しい中今回インターンシップを受け入れて下さった雇用対策室並びに愛ワークの方々皆様に心よりお礼申し上げます。空いた時間など優しく声をかけてくださり、緊張が和らいだと感じています。誠にありがとうございました。この機を十分生かして成長に繋がられるよう日々努力して行きたいと思います。

【67】愛媛県 農林水産部 農政課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

人文学部社会学科 2年次生 河合 菜緒

1. インターンシップ研修の目的

私が、このインターンシップに参加した目的は、3つあります。1つ目は、志望する職業が自分自身に実際に合っているかどうか確かめるためです。私がこのインターンシップの説明会に参加したのは、一回生の時でした。その頃は、就職に関して自分にはまだ先の話だと思っていたため、何気ない気持ちで説明会に参加したところ、早めに自分の将来を考えることができる機会となると思い、2回生でインターンに参加することに意味があると感じました。2つ目は、実際にお仕事をさせていただける機会に直接お話を聞き、志望する職業について詳しく知りたいと思ったためです。3つ目は、2回生でのインターンシップ研修を通して、自分の課題を見つけ、これからの学生生活でしておくべきこと学び、今の自分に不足している能力や課題を発見するためです。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、地元である愛媛県の人や地域のために貢献することができる公務員を志望しています。そのため、6次産業化や農業について農家の方々を支える愛媛県農政課へインターンシップ研修に伺いたいと思い、選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月21日(月)～8月25日(金)

勤務時間：8時30分～17時15分(※変更有り)

日付	研修内容
8月21日(月)	・6次産業化事業集の研究 ・ワークショップ開催準備 ・6次産業化に係る行政評価ヒアリング(中国四国行政評価局)
8月22日(火)	・ワークショップ開催準備・補助(久万高原町)
8月23日(水)	・6次産業化実施事業者視察 〈企業組合こもねっと、企業組合あぐり工房(宇和島市)〉

8月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県6次産業化等関係施策聴取 〈農業女子さくらひめ、ちよこっとオーナー制度 等〉 ・ ワークショップ後アンケートまとめ作業
8月25日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「愛顔の食卓」視察 ・ レポート作成(愛媛県)

インターンシップ1日目は、ワークショップの商品展示用札作成と6次産業化調査ヒアリングに同席させて頂きました。商品展示用札作成は、ミスのないよう確認しながら行いました。ヒアリングでは、初めて耳にする言葉が多くあり、準備不足であったと感じました。

2日目は、久万高原町で行われたえひめ農商工連携・6次産業化ワークショップに参加させて頂きました。農林水産業者の方と企業の方が集まり、6次産業化について意見を交換・共有する場でありました。このような機会には初めての参加であったため、消極的になってしまったところがあり、自分の意見を上手く伝えられなかったため反省しなければならぬところであると思いました。また、様々な業種の方々が集まる場だからこそ、違った目線からの意見を聞くことができ、非常に勉強になりました。

3日目は、6次産業化実施事業者視察のため宇和島市へ行きました。「企業組合こもねつと」のTさんにお話を伺い、生産者からみた6次産業化について、また売るということあたり、ファンを作ることが重要になるということを学ばせて頂きました。次に、「企業組合あぐり工房」のYさんのお話を伺いました。一番印象に残ったのは、家族の理解が重要であることです。起業することなど、何かを始めるときは、第一に家族の理解と支えがあつてからであるということをお教わりました。また、6次産業化の事業に関するお話だけでなく、男女参画社会の中で女性としての強い考えを持たれていたため、大変勉強になりました。お二人のお話の中で共通していたことは、「作る」ことが出来ても「売る」ということは非常に難しいということです。そこで、資金の支援などの面に関して行政が重要な役割であると実感しました。直接、足を運んでお話を聞くことで学ぶことはたくさんありました。

4日目は、県6次産業化等関係施策についての聴取を行いました。愛媛の農業の動向やちよこっとオーナー制度、農業女子さくらひめなどの事業について説明して頂きました。特に、愛媛の農林水産人の事業では、HPは誰が見ても目の引かれる分かりやすいもので、就農したい方だけでなく農業体験に興味がある方など、対象者を広く考えられていると感じました。ニーズに限らず、誰にでも分かりやすいものを作る能力が必要だと感じました。私にとっては、非常に関心のある事業ばかりで聞いていて面白く、興味深かったです。

5日目は、「愛顔の食卓」に伺わせて頂きました。6次産業化商品の販売だけでなく、様々な授業を行って、繋がりを大切にしている「いよココロザシ大学」などのお話を聞き、とても良い取り組みで魅力的だと思いました。色々な視点から考えて案を出す柔軟性が大

切だと学びました。

4. インターンシップ研修を終えて

このインターンシップ研修を振り返り、5日前に比べ、農業や農政に関する知識が増えただけでなく、自分自身の中での6次産業化に対する考えも深まり、変わることができたのではないかと思います。5日間を終え、パソコンに向かっての仕事だけでなく、実際に現地へ行き、直接お話しを聞く出張も経験させていただき、本当に良かったです。農政課に伺っている中、私の周囲でも関係していることはないかと思い返してみると、友人のトマト農家が生産から加工、販売まで行っていたり、家で取り寄せている卵も直接個人の家庭に販売に来ていたりと周りにもヒントはあるのだと気づきました。この5日間のインターンシップは、とても有意義な時間になりました。研修初日は緊張で張り切り過ぎてしまうことも多かったのですが、初日より2日目、2日目よりも3日目と、日を追うごとに様々なお話を聞くことができたので楽しく活動できました。優しく丁寧な方が多く、職員の方同士でも楽しく話されていたため、笑顔で緊張感のある職場であると感じました。組織で働く上で、「人間関係」がとても重要であると実感しました。何でも話せる仕事仲間や、頼れる上司の方が居て、充実した仕事ができるのであると思いました。実際、研修していても私もこの職場で働きたいという気持ちが強くなりました。

今回のインターンシップでは、研修前に設定した3つの目的に沿って行うことが出来たと思います。就職活動まであと2年ほどですが、愛媛の様々な現状に敏感になり、知っていくことなど、今から出来ることをやっいていこうと思います。このインターンシップで実際に自分の目で見ることができたことで、どのような仕事をしているのか具体化できました。この経験を、今後の大学生活や就職活動に生かしていきたいです。

最後になりますが、大変お忙しい中、インターンシップ研修を受け入れてくださった農政課の皆さま、丁寧にご指導していただき、ありがとうございました。

【68】愛媛県 農林水産部ブランド戦略課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町 4-4-2

人文学部英語英米文学科 2年次生 岡村 桜

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に対する目的は、将来の夢である公務員として働く方々の仕事を学び、公務員になるために今の自分がすべきことを見つけるためである。公務員として働くためには、公務員になりたい、という夢だけをもっているだけではなく、果たして自分に合っている仕事なのか、しっかり見極めることが大切である。また、働くイメージがぼんやりとしたまま公務員を目指すのではなくて、どんな仕事をしているのか、様々なことを分かった上で目指すことが大切である。そのため、私は今回のインターンシップ研修を通して、公務員の様々な面を知り、自分に合っているのか考え、その上で今の自分がどうすればいいのかを見つけるために、インターンシップ研修に参加しようと考えた。

2. インターンシップ研修先の選択

私がインターンシップ研修先に愛媛県農林水産部ブランド戦略課を選択した理由は、事業に大変ひかれたためである。最初は「インターンシップは官公庁で研修したい」とは思っていたが、明確に行きたい部署は決まっていなかった。しかし、配布された愛媛県の受入可能課所一覧よりこのブランド戦略課を見つけ、愛媛県産農産物をPRする、というところに大変魅力を感じ、ぜひ研修に行ってみたいと思うようになった。また、自分なりにインターネットなどで調べてみた結果、具体的な活動や、積極的に愛媛県の農家の方々や事業者の方々を巻き込んで企画されているところを知り、その魅力にひかれ、ぜひ参加してみたいと思うようになった。

3. インターンシップ研修の内容

研修日程	研修内容
9月 13日(水)	・ブランド戦略課事業説明 ・レポートについての説明 ・台湾フェア準備
9月 14日(木)	・レポート作成 ・松山モノリスにてスイーツコンテストの打ち合わせ

9月 15日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと創生館にてみかんストリート(仮)における協議 ・八幡浜市役所にてみかんガチャの備品の確認 ・議事録作成
9月 19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・スイーツコンテストの書類審査 ・レポート発表

一日目にはブランド戦略課内にあるブランド推進グループの主幹より、課の事業説明を受けた。お話を聞いてみると、甘とろ豚やあかね和牛など、愛媛県農産物をブランド化する為に、農家の方たちと協力しながら上質なものを作り上げたこと、一方で、愛媛県産の柑橘類を海外に売り込む際の大変さや、今後の事業展開など様々なことを知ることができた。私はずっと愛媛で生活しているため、愛媛のことはある程度分かっていたつもりだったが、お話を聞いて初めて知ったことばかりで、初日からいい刺激になった。また、その際に、「愛媛県農産物を海外に売り込むとしたら、あなたならどの国に、何を、どうやって売り込むか」というレポートを、理由をつけて最終日までに考えてくる、という課題を考えることになった。考えたことのない議題でのレポートに少し戸惑ったが、自分なりの意見を発信できる機会を無駄にしないよう、頑張ろうと思った。そのあとには、台湾フェアにて愛媛県産の温州みかんを台湾で販売するため、その準備の手伝いをした。その際に、台湾をはじめ様々な国へ直接足を運び、愛媛県産の農産物をプロモーションしているお話を聞くことができた。どのお話もためになるものばかりで、充実した一日目となった。

二日目には愛媛県の農産物を使ったスイーツを提案し、競い合う「えひめスイーツコンテスト」の会場である松山モノリスへ職員の方と出向き、打ち合わせをした。実は松山モノリスは私のアルバイト先で、どのように打ち合わせを進めていけばいいか戸惑ったが、社員さんと職員の方は円滑に打ち合わせを進め、イベントに向けて綿密に話し合っている様子を見て、一度話し合ったことでも一つ一つお互いに確認しあいながら、話し合うことが大切なのだ、と感じた。業種は違いながらも、イベントを成功させようという社員の方と職員の方の情熱を感じることができ、社会人としてどうあるべきか考えさせられた。また、いつもとはまた違うアルバイト先の様子を見ることができ、いい経験となった。アルバイトであり、インターンシップ生という偶然もあり、お互い終始和やかに打ち合わせを進めることができたためよかった。二日目も学生の間では味わえない経験ができた日だった。

三日目には西予市と八幡浜市まで職員の方と、ロープウエー街の事務局長と一緒に出向き、ロープウエー街で販売する商品についての協議やみかんガチャの備品の確認に同行させていただいた。特に印象に残ったのは、ふるさと創生館さんでのみかんストリートについての協議である。西予市にあるふるさと創生館さんでは、販売している商品を実際に試飲し、現場の方から製法、売り上げ状況や商品を入れているボトルまで話を聞き、全員で商品をもっと売り出すための協議をした。今回の協議を経て、足を運んで協議する、というのは、大変な時もあるが、実際に目で見なければ分からなかったことや、触ってみたり、

飲んでみたりしなければ気づけなかったことがあることに気付いた。また、実際に現場で聞いて得た情報を事前に収集した情報と照らし合わせて、自分の中でまとめていく力が大切なのだと感じた。学生である私にはなかなかこういった経験をするのがないため、新鮮なことばかりだった。協議をする職員の方々やふるさと創生館の方々は、ただ相手の話を聞き、自分の意見を述べるだけではなくて、インターンシップ活用で学んだ情報を発信する力や、主体性を持っている方ばかりで、積極的に協議を深めていた。私もそういった力を身につけたいと思った。県庁に戻ってくると、ふるさと創生館での協議の議事録をつくる作業をした。協議内容のメモはしたもの、それをうまくまとめることができず、大変苦戦した。職員の方より、「とても難しい作業だけれど、こうして話しあった内容をまとめ、形にすることで、自分の中で残りやすい。最初はとても大変だけれど、回数を重ねるうちにできるようになるし、きっと学生生活でも役に立つものだよ。」というアドバイスをいただいた。学生生活の間でも練習しやすいし、こういった作業は様々な場面で役立つと思うので、ぜひやってみたいと思った。三日目にした研修は4日間の中でも特にいい刺激となった。

最終日には、初日に課されたレポートの発表を行った。私はインドに愛媛の水産物を売り込む、という内容で主幹にプレゼンを行った。主幹からは、インドへの輸出についてやインドの食文化、経済面からのインドの現状など、様々な分野からアドバイスをいただいた。それだけでなく、ブランド戦略課の隣にある水産課にまで話を通して、インドについての資料をまとめてきたものを私に手渡してくださった。「こうやって、助けが必要な時はみんな協力してくれるもんなんよ!」といった主幹の言葉が印象的だった。このように、やったことのないこともやってみることで、思わぬ収穫があり、自分の視野が広がるとてもいい経験になることを学んだ。そのあとにはスイーツコンテストの書類審査をして、愛媛県産の意外な農産物や、それをうまくアレンジしたスイーツに驚くばかりだった。

4. インターンシップ研修を終えて

4日間のインターンシップ研修は、毎日が刺激的で、充実した4日間だった。研修前では分からなかった公務員の適正だけでなく、公務員として働く自分のビジョンが明確になったおかげで、前回より公務員になりたい気持ちが高まり、試験勉強を頑張りたいと思うようになった。また、公務員になるためにはどうすればいいのか、職員の方々からも様々なアドバイスをいただいた。そのおかげで試験の厳しさを痛感するとともに、コツコツと勉強することの大切さを知ることができた。また、社会人としてのマナーを学ばせていただいただけでなく、社会で必要な力を身につけるには、学生の今でもできることはたくさんあることを教わった。これからの学生生活では、今回のインターンシップ研修で学んだことを全ていかす気持ちで、過ごしていきたい。

【69】愛媛県 土木部土木管理課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町 4-4-2

経済学部経済学科 3年次生 山本 光瞬

1. インターンシップ研修の目的

私がなぜ、このインターンシップ研修を行おうと思ったのかそれは、このままで何もしないで就活を迎えてしまうのは不安だったからです。そこで、インターンシップを行い実際の職場を体験して、社会人マナーや職場に必要なコミュニケーション力を少しでも身につけたいという思いで5日間のインターンシップを行いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が研修先として愛媛県土木部土木管理課を選択した理由は、建設業という私自身まったく知らない分野での仕事で、興味もあり自分自身の視野も広げられると思いこの研修先を希望しました。

3. インターンシップ研修の内容

1日目

1日目は、午前9時00分に出勤20分前に到着し朝の点呼で全体連絡、その際にインターンシップ先である愛媛県庁土木部土木管理課の職員の皆さんへ全体挨拶。その後、個別での挨拶周りをさせていただきました。職場での挨拶はあまり経験したことがなく、とても緊張していましたがインターンシップ活用の講義で学んだビジネスマナーが役立ちました。講義で行った挨拶における姿勢、声の大きさ、会話の際は相手の目を見ながら明確な意思表示をする、以下のことを意識して挨拶ができました。土木管理課の皆さまにあたたかく迎えていただくことができました。挨拶が終わると県庁内での土木管理課における業務内容の説明等を担当の職員の方に指導していただきました。主な業務は、建設業の許可及び業務指導に関する事務、私がお伺いした土木管理課では地方局や建設業者の方々と連絡をとりながら業務を進めていくことが多いように感じました。

午後12時～13時に昼休憩。昼休憩終了後は、県庁内の施設見学を行い研修2日目に行われる建設業の魅力体験イベントについての打ち合わせを行いました。主な内容は、参加するスタッフの役割の確認、イベントの流れや時間配分、参加者誘導の確認等を話し合いました。打ち合わせといっても長々と話し合いを行うものではなく職員の方それぞれが業務内の限られた時間を使い円滑に進んでいました。その後は、職員の方の指導を受けなが

ら事務作業などの業務を行い5時15分に退庁し1日目は終了しました。

1日目を終えて感じた事は、第一に挨拶の大切さをとても感じました。初対面の相手だと最初の挨拶で第一印象が決まってしまうので、今回は研修でお世話になる方への挨拶なのでなおさら大切です。このことを就活前に経験することができたことはインターンシップに行ったからこそだと思います。

2日目と3日目は、前日に打ち合わせを行った「建設業の魅力体験イベント」に県のスタッフとして参加しました。

「建設業の魅力体験イベント」とは、平成27年度から行われている愛媛県と、愛媛県建設産業団体連合会が行っているイベントです。将来の建設業界の担い手となる中学生やその保護者を対象に建設業の役割や仕事内容を理解してもらうことを目的として開催されています。実際に、参加されていた方々を見ても小学生、中学生のお子さんとその保護者が多く見受けられました。開催場所は、東予地区、中予地区、南予地区の3箇所で行われ、私は東予、中予の2つのイベント補助として参加しました。今年の詳細な開催場所は中予地区が松山市にある松山工業高校、東予地区が西条市にある東予高校で行われました。

「建設業の魅力体験イベント」 中予地区

午前8時00分に会場である松山工業高校に到着し松山工業高校の先生方への挨拶、その後重機搬入の誘導などを行いイベントが開始されてからは、参加者に二班に分かれてもらい重機体験と校内案内私は、重機体験のスタッフとして参加者の誘導、説明等の対応に当たりました。校内案内と重機体験が終了すると11時45分から昼休憩を行い、12時40分から実際に工事現場へ向かい現場見学、降雨体験、3D鑑賞を行うというプログラムでした。次の日の東予地区でのイベントも同じようなプログラムで行われ同様にスタッフとして参加しました。

インターンシップ1日目とは一転して事務作業ではなく外で業務が主でした。このイベント中の昼食の際にイベント参加者のお子様とその保護者の方にお話をさせていただく機会があったので今回のイベントの感想などを聞いてみたところ「重機に乗るなんてめったにないので貴重な体験ができた」「今まで建設業についてはあまり知らなかったが興味が出てきた」などとポジティブな感想が多く聞けました。イベント終わりに参加者の皆さんが記入して下さったアンケートの感想欄を拝見しても、私自身今回のイベントに参加してよかったと感じたし、イベントを振り返ってみて「こうするべきだった」と感じた反省点などが沢山思い浮かび退勤した際に自宅で自然とフィードバックを行っていました。このイベントは、気温が高い中屋外で行われていたこともあり、体力的にはきついと思うこともありました。しかし、イベントに参加して私は社会奉仕という面で仕事のやりがいを感じました。

・研修4日目、5日目

研修4日目と5日目は統計調査の集計など1日目と同様に事務作業メインでした。そして、合計5日間の研修が終了しました。

研修を終えて、現在私は、公務員試験に合格し県の職員として勤務することを目標に勉

強している身であり、今回愛媛県庁でインターンシップを行えたことはとても良い経験になりました。研修中は、目的としていた社会人としての人間力、マナーを意識することができたと感じ、研修を終えた後それが以前よりは身についていると感じられることもあります。さらにもう一つの目的でもあった積極的なコミュニケーションでは県庁の職員の方に質問など就活前に知りたかった県の職員についてうかがうことができたと思います。今回の研修先である土木部以外にも、以前所属していた部署の話や民間企業から公務員へ転職された職員の方の話などインターンシップ研修を行わなければお聞きすることができなかったお話もうかがうことが出来ました。

4. インターンシップ研修を終えて

今回のインターンシップ研修では、実際に職場で働くことと限りなく近い状況で職員の方々と共に業務を行い職場の雰囲気を楽しむことができました。その一方で、愛媛国体前ということもありインターンシップの受け入れ態勢が整っていなかったように思います。その忙しい中今回の研修を受け入れていただいた土木部土木管理課ならびに愛媛県庁の皆様にはとても感謝しています。5日間充実した日々を送ることができました。

【70】愛媛県 教育委員会 保健体育課

〒791-1136

愛媛県松山市上野町乙 46

経済学部経済学科 3年次生 三好 大地

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は2つあります。まず1つ目は、自分がどんな仕事がしたいかを見つけるためです。私はこれまで就職について深く考えていませんでした。しかし、だんだん就職活動が近づくにつれて、このままではだめだと思い、自分にはどんな職業が向いていて、どんな職業に就きたいかを早い段階から身をもって知りたいと思いました。2つ目は自信がなかった自分を変え、人間的にも成長するためです。このインターンシップを通じて、奥手だった自分に自信をつけるきっかけになればなと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は研修先を決める段階で、どのような仕事をしたいか明確に定まっていなかったため、あえてあまり私が興味を持たなかった仕事をしてみて、新たな発見をしてみようと思い、公務員にしました。課所を選択するときに、保健体育課の実習テーマの欄にジュニアアスリートという単語があり、私はスポーツが好きで小さい時からやっていたし、業務内容が面白そうだと思ったので選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：9月2日（土）～9月15日（金）

勤務時間：8時30分～17時15分

日付	研修場所	業務
9月2日（土）	県総合運動公園管理事務局 テクノプラザ愛媛	業務内容説明 プログラム補助
9月4日（月）	県総合運動公園管理事務局	デスクワーク 伝票作成
9月5日（火）	県総合運動公園管理事務局	デスクワーク 伝票作成

9月6日(水)	県総合運動公園管理事務局 愛媛県庁	デスクワーク 伝票作成 県庁訪問・ご挨拶
9月8日(金)	県総合運動公園管理事務局	デスクワーク 伝票作成
9月9日(土)	聖カタリナ大学	プログラム補助
9月11日(月)	県総合運動公園管理事務局	デスクワーク 伝票作成
9月12日(火)	県総合運動公園管理事務局	デスクワーク 伝票作成
9月14日(木)	県総合運動公園管理事務局	デスクワーク 伝票作成
9月15日(金)	県総合運動公園管理事務局	デスクワーク 伝票作成

まず、初日は研修を始めるにあたり、どういった業務内容かの説明がありました。また、この後のプログラム活動の大まかな流れを教えてくださいました。その後、テクノプラザ愛媛に移動し、機材やプログラム資料の準備、プログラムに参加される方々の車の誘導などを行いました。プログラムの内容は愛媛県が東京オリンピックを迎えるにあたり、愛媛から未来のオリンピック選手を育成しようというプログラムで、2日のプログラムのテーマは「メンタルトレーニング」で、中学3年生を対象に講師の方を迎えて行われました。研修初日だったので、何をすればいいかわからずただ茫然と講師の先生のお話を聞いてばかりいました。この時に、生徒のみんなと歳も近いので積極的にコミュニケーションをとればよかったなと後悔しています。ですが、実際に生徒のみんなといっしょにプログラムに参加してみて、先生のお話で自分の伝えたいことを相手の立場になって正確に伝えることが大事と話されて、今の自分にはこの力が足りないと感じたと同時に、日頃からの会話ひとつで上達できるなと思い、とても勉強になりました。

2日目からの平日の主な業務としては、伝票作成やエクセルを使った情報収集や情報整理などのデスクワークでした。相手の方の個人情報等を扱うため、取り扱いに気を付けながら業務を行いました。また、私のインターンシップ研修での個人的なテーマである責任感を身に着けることがこの業務で養われたと思います。研修2週目は愛媛国体の会期前競技が研修の日程とかぶっていたので、休憩の間や先生方の計らいで弓道等の競技を観戦させていただきました。弓道の遠的の成年男子チームが優勝する瞬間を間近で観ることができてとても感動しました。自分も負けないようにインターンシップ研修や今後の就職活動を頑張らないといけないと思いました。

9月9日の土曜日は聖カタリナ大学でのプログラムでテーマは「アンチドーピングにつ

いて」と、「栄養学について」でした。プログラムは2回目だったので、研修初日よりはきびきびと機材、資料の準備などを行うことができました。講義内容は主に食生活や体調管理のお話で、朝食の正しい取り方やドーピングに引かかる薬局にもある薬の種類など、日常にも活かせることを知り、自分の身体の中に入れるものに責任を持つことの大切さを学びました。また、生徒たちと少しですがコミュニケーションをとることができ、なにより、生徒たちが楽しそうに講義を受けているのが印象的でした。

4. インターンシップ研修を終えて

私はこのインターンシップ研修を通して、多くのことを学ばせていただきました。その中でも特に、自分の仕事に責任を持つことの大切さを多くの場面で思い知らされました。先生方は自分の仕事に責任を持って、また誇りを持って日々の仕事をこなしていたので、とてもかっこいいなと思い、私もそういう社会人になりたいなと思いました。また、自分の中でのインターンシップ研修での目標だった自信をつけて人間的に成長することは、少しは達成できたかなと思います。最初のは緊張やまわりの雰囲気吞まれてしまいましたが、慣れていくにつれて先生方とコミュニケーションをとったり、進んでお手伝いをしたりしていく中で、自分なかの何かが変わっていくような気がして、成長を実感することができました。また、私はあまり人の目をみて話すこと、聞くことが苦手でしたが、この研修で少しではありますが、目を見て話すことができるようになり、また目線も研修前と比べて上がったと思うので自分の中で成長できたと感じました。

最後になりましたが、お忙しい中、研修を受け入れてくださった保健体育課管理事務局の皆さま、およそ2週間という短い間でしたが、丁寧にご指導していただきありがとうございました。あまり先生方のお役に立てることができなかつたと思いますが、この経験は今後の大学生活や就職活動で恩返しできるように精進していきたいと思います。およそ2週間、本当にありがとうございました。

【71】愛媛県 教育委員会 生涯学習課

〒791-1136

愛媛県松山市上野町甲 650

経営学部経営学科 2年次生 佐々木 隆喜

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップの目的は「自分の働く意味を見定める」ことである。なぜなら、私は働くことに対する意味を見いだせていないからである。大学を卒業してからは働いていかなければならないのに意味ももたず取り組んでいることは雇ってもらえる会社にも自分にも不利益しかもたらさない。そもそも、そのような向上心にかける人材を雇う企業が多いとはとも思えない。そのため、この機会を活かしてなぜ働くのかをはじめとして働くうえでの面持ちや心構えを学んでいき、社会に出る準備を今のうちからしっかり固めていきたいと考えたからである。また、働く意味をもうけることができれば、やりがい生まれる。やりがい生まれれば仕事に対する意欲、それに伴う反動等からプライベートの充実へと繋げていくことができる。つまり、より人としての成長へとつなげていける。そんな大切な意味を見つけるための模索であるこの研修は私にとってとても重要な目的である。

2. インターンシップ研修先の選択

私は仕事に対する希望や目的が見いだせていない。前述の通り、働く目的を持っていない人間が仕事をしていくにはかなり大変なものである。そのため研修先の選択をする際に自分の経験を活かせるものや選択しなければならないものを考慮した結果、中学、高校時代と美術部に所属し、美術館や博物館で活動していたことと、民間企業で働くか官公庁で働くかの選択肢を考えていた。それもあって学芸員さんの仕事に関わることのできる愛媛県美術館、生涯学習センターを希望した。第一希望は愛媛県美術館にしていたものの、残念ながら参加することはできなかった。しかし、第二希望であった愛媛県生涯学習センターで運よく研修させていただけることになった。また、選択する時に調べていくなかで生涯学習センターは愛媛の地元貢献に尽力している事業が多いことも分かり、私は地域再生に尽力中の今治市出身であった。それらのこともあり、すこしでも愛媛のことを知り、愛媛の力になれるにはどうすればいいかを学んでいくことができると考え、より一層研修先への興味と研修意欲が深まった。

3. インターンシップ研修の内容

まず、今回の研修では8日間の研修の中で大きく分けて3つの部署で仕事をさせていた

だいた。まず、指導係では主に3つの仕事を経験させていただいた。一つ目は生涯学習センターが行っている事業であるふるさと学習作品展の受付業務の補助を経験した。仕事は届いた作品の分類分け、ともに送られてくる作品情報と実際に届いた作品に違いがないか、ひとつひとつ手に取って確認、確認した作品の番号付け、送られてきた作品データ情報の訂正と集計といったことを行った。最初は職員の方と協力して行い、その後一人ですべての作業を一人で行うことができるようになった。二つ目は同じく生涯学習センターが行っている事業であるボランティアに参加した学生たちの感想の入力と添削作業である。人の考えをいかにわかりやすく、正確に伝えるかを考えて作業しなくてはいけないので、とても大変だった。そして3つ目は愛媛人物博物館で生涯学習センターが行うエコツアー事業計画をインターンシップ生一人一人がパソコンや本を用いて作成するというものである。しっかり自分の地元を理解し、魅力を伝えながら現実味のある企画にしなくてはならないため、自分の企画力の向上に大いに役立った。次に、研究科で2つの仕事を経験させていただいた。一つ目は生涯学習センターのホームページ内で掲載されている「えひめの記憶」内にある愛媛県史の人物情報を実際の県史や作られているデータを基に入力する作業である。知識と実際に情報として残るものであることから、責任を持って行うよう努力した。二つ目は生涯学習センターと愛媛歴史博物館にて研究科の職員が講義を行う「学び舎えひめ悠々大学」の受付補助と実際の講義に参加した。愛媛の知らない知識の収集や講義の準備で学びを深めることができた。最後に、愛媛県生涯学習センターの指定管理を行っている株式会社レスパスコーポレーションのもと、会計や帳簿の額が合っているか、勘定科目をもとに一枚一枚出費等の用紙を確認する作業を行った。こと細かくかつ膨大な量の資料の処理をするのはとても集中力を使った。また、これらに加え、各部署やその専用場所ごとの担当者の方から詳しいご案内をお受けしたり、最終レポートの作成などを行ったり、自分の研修のまとめる時間もいただくことができ、学んだことの整理や感謝の気持ちを深めることもできた。

4. インターンシップ研修を終えて

今回の研修を経て、4つのことを学んだ。まず一つ目は博物館や官公庁で働くとはどういうことかを学ぶことができた。出勤時間や週2回のお休みを必ずとること、そして夏季休暇等の休暇のある一定の期間内までにとっておかなければいけない等、ほかの職場では聞くことのない仕事時間に関するお話を伺うことができた。二つ目は学芸員になることの厳しさである。今回担当して頂いた専門学芸員Tさんや指導係の職員さん方によると、現状学芸員になるには全国どこへでも行く覚悟を持たなければいけないことや博物館や美術館が新たに出来たりしない限り学芸員の仕事の枠ができないこと、そして学芸員の採用に関する情報をすぐに確認できるサイトがあることなど、とてもなるのが難しい職業であることを実感させられた。三つ目は今の県の施設の仕事状況についてである。一つ目のことにも重なる部分ではあるが、休館日が一日であるなか、官公庁であることから休みを二日とらなければいけないことと主に担当業務や項目に複数人でこなしていることがあまりな

いため、担当の職員が外出もしくは休みの日に連絡が来ると、ほかの職員では対応できないため長時間お待たせしてしまったり、対応がかなり遅れてしまったりする場合もある。また、研修中、ほかの県の施設を伺うこともあり、事務局に報告に伺ったものの、対応できる職員さんが一人しかおられず、電話対応をしていたため、しばらく待つ必要があった。これらのことや一部職員さんのお話もあり、できるだけ人材を少なくして利益を出せるようにすることや単に予算削減の都合などで人員を増やせないなど人材不足の状況を伺い知ることができた。四つ目は無理せず責任を持って取り組むことの大切さである。今回研修では業務補助・企画作成・講義など一つの内容だけになることなく、様々な部署、様々なお仕事に挑戦させていただいた。しかしながら、業務内容の都合上室内での業務がほとんどであった。その中で自分はいかに集中して早く仕事を済ませるかを考えて取り組んでいたものの、職員の方々のお声かけや仕事をしていくなかで感じたのは必ず一休憩をおきながら取り組むことの重要性である。いくら真面目だからといってずっと仕事をしていたら体が持たない。初日、あまり休憩を挟まず仕事に取り組んでいたため、大きな疲れを研修後感じるようになった。その状況をずっと続けてしまえば、自分だけでなく周りにも迷惑をかけてしまうため自分の限界を見定めて、休みをとりながら仕事に励むことも責任をもつことのひとつであると理解した。また、休みをとることでより短い時間に集中して仕事を処理できるようになり、自主的にお仕事を見つけて取り組むこともできた。また、目標に掲げていたコミュニケーションも職場の方々や同じインターンシップ生の方の人柄もあって、苦手な自分でもしっかりお話することができた。これ以外にも、いろいろな局面で優しく穏やかに対応している職場の方々や、インターンシップ生の方の姿勢は、自分が社会で対応していくうえで必要なことであり、学びと感謝の気持ちでいっぱいである。これらのことから今回の研修はとても充実したものであったといえる。

【72】愛媛県 教育委員会 美術館

〒790-0007

愛媛県松山市堀内 美術館

経営学部経営学科 2年次生 石丸 菜々子

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修へ行く目的は自分と社会とのギャップを認識し、働くことに対して自分の考えを見つめなおすことです。私たち学生の考える「社会に出て働く」と社会人の考える「社会に出て働く」は違うのではないかと私は考えます。そして、私たち学生の考える「社会に出て働く」のほうが甘い考えを持ちがちなのではないかと考えます。そのため、「社会に出て働く」ことを、実際にインターンシップ研修を通して体験し、このギャップを少しでも埋め、社会に出た際の戸惑いを少しでも減らしたいと思い、研修に挑みました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は小学生の時から歴史の授業が好きで、特に教科書に載っている絵画や石像を見るのが好きでした。そのため昔から美術品にかかわることのできる仕事を将来したいと漠然と考えていました。中学校当時、私は特に日本の歴史に興味を持ち、友人に「日本の歴史のここが面白いよ」という話をたびたびしていたのですが、あまり興味を持ってもらえませんでした。どうすれば興味のない人に興味を持ってもらえるか、この問題はどこの企業にも発生する問題だと思います。この答えを愛媛県美術館で探したいと思い選択しました。しかし、一番の選択理由は長年の夢だった“美術品にかかわることのできる仕事”をやってみたいと思い、愛媛県美術館をインターンシップ先に選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間 8月24日（木）～8月27日（日）の4日間

研修日	研修内容	研修場所
8月24日（木）	美術館案内、会場の椅子の設定、講座試作（年賀状作成）、会場の片付け	美術館館内
8月25日（金）	対話型鑑賞について、チラシ折り、チラシ配り	美術館館内、市駅前
8月26日（土）	印刷物の発送作業、美術館講座聴講、館内見学、アトリエ見学	美術館館内

8月27日（日）	講座体験、美術館施設について、企画展鑑賞、コレクショントーク参加、講座試作（写真）	美術館館内
----------	---	-------

8月24日（木） 「美術館案内、講座試作」

常展と「美人画」は語る展を見せてもらいました。展示室の仕組みや展示の工夫をほかのインターンシップ生と探しあうことで、美術館についての理解・関心を深めました。普段、気にもしたことがなかったことについて知ることができ、様々な角度から美術館を見ることができ、とても良い経験になりました。

8月25日（金） 「チラシ折り・配り」

この日は、今展示されている「美人画」は語る展と今後予定している展示のチラシ、計四枚を一つにまとめて折る作業を行いました。その後、市駅前までチラシを配りに行きました。しかし、どうしても「渡されて迷惑だろうな」と余計なことを考えてしまい、積極的に配ることができず、目標通りの行動をすることができませんでした。しかし、“知ってもらう”ということはこんなに大変なのかと改めて学ぶことができました。

8月26日（土） 「発送作業、美術館講座聴講」

この日は、各小学校と中学校へ送る資料を各教育委員会に分けて、包装する作業をしました。昨日に続き、“知ってもらう”ことの大変さを学びました。そのあとは美術館講座聴講を受けました。時代ごとに美人の定義が変わっていくことが面白く、今回の美人画展をより一層楽しんで見学することができたと思います。

8月27日（日） 「講座体験、コレクショントーク」

最終日、もう一度美術館内を見学し、改めて美術館のよく見せるための工夫を発見することができました。講座体験では、ピンホールカメラを使い美術館周辺の撮影をしました。白黒の写真はいつものカラーのものとは違い味があり、どこか温かみがありました。コレクショントークでは、作品を見てどのように感じるか、またどのような情景を描いた作品かを話し合いました。人によって悲しい絵に見えたり、始まりの希望に満ちた絵に見えたりと、話し合うことでいろいろな今まで見えなかったことが見えてきて新しい発見をすることができました。

4. インターンシップ研修を終えて

私は、インターンシップ研修へ行くにあたって「積極的に行動し、コミュニケーションをきちんととり、学ぶ姿勢を忘れない」という目標を立てました。しかし、この3つの目標のうち、積極的な行動とコミュニケーションはあまり達成できたとはいえない結果に終わってしまったように思います。まず、積極的な行動について初日はできるだけ発言をしよう自分の中では積極的に行動していたつもりでした。しかし、2日目のチラシ配りの際、自分の中では積極的に動いているつもりでも周りから見たら別に積極的でなくこれが周りの一般的な人の普通だということに気が付きました。その後、2日間も自分の中では積極的に動いていたつもりでしたがやはり振り返って考えてみたらできてなかったなど

反省しました。もう一つのコミュニケーションは私自身があまり人と会話をしないせいもあり、会話の途中で口ごもってしまったたり、あまりうまく伝わらなかったりといったことがちらほらありました。これは反省しなければならないポイントであり、大学生の間に直さなければいけないなど改めて実感しました。

今回のインターンシップ研修の中で改めて自分の問題点を見つけること、再確認することができました。達成したとはいいがたい目標であった積極性とコミュニケーションは早期解決すべき課題です。この2つを身に染みて問題点であると確認できたことは大きな収穫だと思います。また、選択理由にも書いた“どうすれば興味のない人に興味を持ってもらえるか”という問題については、知ってもらうための活動としてチラシ配りやコマーシャル、小中学校などへのチラシの郵送など、様々な知ってもらうための努力をしていることを知り、知ってもらうとはいかに難しいかを理解することができました。

改めて、お忙しい中貴重なお時間をいただきました愛媛県美術館の皆様には感謝してもしきれません。今回の研修を終え、美術館に対する愛がより一層深まりました。今回の研修での経験を今後の生活に生かしていけるよう努力したいと思います。4日間という短い時間でしたが、本当にありがとうございました。

【73】愛媛県庁 企画振興部 情報政策課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目 4-2

経営学部経営学科 3年次生 一色 祥真

1. インターンシップの目的

私がインターンシップ研修に参加した理由は2つあります。

1つ目は、働く意味を知ることです。社会人として働いている方々は、なぜ働いているのか、何をやりがいとしているのかについて考えるきっかけにしようと思いました。

2つ目は、公務員の仕事は具体的にどのようなものがあるかを知ることです。私は、県、市、町等の仕事について、知識がありません。そこで、このインターンシップを通して知り、進路の参考にしようと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、公務員を志望しているため、研修先として合同説明会の際、職員の方が気さくに話してくださり、雰囲気もよかった愛媛県庁にしました。また、私は経営学部の情報コースに所属しているため、多くの課がある中で、情報政策課の情報という言葉に興味を惹かれて、ここに決めました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：平成29年7月28日～8月3日（土日を除く5日間）

研修概要：情報化イベント集計・分析、庁内LANシステム運営、機器オペレーション等

勤務時間：8時30分～17時15分（うち1時間休憩）

日程	研修内容
7月28日(金)	○実習にあたっての説明 ・誓約書の提出・資料配布 ○情報政策課業務の説明 ・各Gの業務内容 ○情報化イベント集計・分析業務 ・「えひめITフェア2017」アンケート集計、分析
7月31日(月)	○情報化イベント集計・分析業務 ・「えひめITフェア2017」アンケート集計、分析

8月1日(火)	○庁内 LAN システム運營業務 ・DNSSEC 対応検討 ・ 停電対応協議
8月2日(水)	○大型電算管理業務 ・分散保管テープ作成作業 ・ 消耗品補充及び発注準備作業 ○大型電算バッチ・オンライン業務 ・業務処理補助 ・ 帳票出力作業 ・ 実行結果確認及び記録作業
8月3日(木)	○庁内 LAN システム運營業務 ・DNSSEC 対応検討 ・ NOC 室説明 ○情報化イベント集計・分析業務 ・「えひめ IT フェア 2017」アンケート集計、分析 ○総括 ・インターシップに実習取りまとめ

1日目は、愛媛県庁の概要と企画振興部情報政策課が愛媛県庁のどのような部分を担っているのかを学びました。情報政策課は4グループに分かれていて、それぞれ違う仕事があり、県庁内のネットワークまであらゆる情報のことについて請け負う組織であることを知りました。次に、えひめFreeWi-Fiが大街道、銀天街、まつちか town で使えることを表すシールの実態調査をしました。私は、事務的な作業ばかりと思っていたので、実際に現地を歩いて調査したことには驚きました。最後に、えひめ IT フェア 2017 で行ったアンケートの整理を行いました。

2日目は、前日に続いてアンケートの集計を Excel で行いました。200枚を超えるアンケートには、選択式のものや記述式のものがあり、これを一つのデータにまとめることに苦労しました。中には、不明確な回答もあり、職員の方に判断をいただきながら、何とか集計を終えることができました。

3日目は、まず、停電対応行うにあたっての協議に立会いさせていただきました。職員の方は、停電をしたとき、重要なデータはしっかり管理されているのかを、企業の方とやり取りされていました。協議の中で、職員の方々が、疑問に思ったことはすぐ質問して確認している姿を見て、不明な点はその場で解決することが大事であると感じました。次に、DNSSEC というシステムの対応検討を行いました。私は、DNSSEC がどういうことか解らなかったので、DNS の仕組みを理解するところから始めました。作業の流れにそって、インターネットを使い、word で自分なりにまとめました。ある程度理解したと思ったところで、職員の方に説明してみたのですが、なかなかうまく伝わりませんでした。逆に、自分が理解していないところを問われ、慌てることもありました。

4日目は、今までとは違う部屋で、業務を行いました。まず、県独自のコンピュータの凄さを学びました。そして、その汎用コンピュータの特徴についても学びました。すべて新しい最新のシステム導入するわけではなく、信頼性を考慮して、バグの少ない方法をとっていることが分かりました。最後に、職員の方々が行った業務の実行結果の確認作業と

記録の作業に同行しました。一日の間に様々なシステムが動いていて、それぞれのシステムが正常に作動していることを確認されていました。私にはよく理解できませんでしたが、全てのデータを確認する作業が大変なことだけは伝わりました。

5日目は、2日目に行ったアンケートの分析を行いました。まず、選択肢の部分では項目ごとに円グラフで表示しました。そして年代や職業によつての満足感の傾向や感想など、私自身分析したことをまとめました。この業務では、大学で学んだことを生かして、わかりやすいグラフになるように心がけることができました。また、NOC 室という精密機械がたくさんおいてある部屋にも見学させていただきました。たくさんの機械が動いていてネットワークの複雑さを実感しました。

4. インターンシップを終えて

まず、第一の目的であった働く意味を知ることは、私の中で、少し達成できたように感じました。愛媛県庁の方々には県民のために働いていることは当然ですが、興味をもって仕事をしている人が多いと感じました。私自身も興味があることにはとことんチャレンジしていきたいと思いました。

第二の目的である愛媛県庁には具体的にどんな仕事があるかを知るということは、今回、様々な業務に携わらせていただき満足できる研修となりました。ただ、事務職の方よりも情報職の方が多かったので、専門的な部分があり、理解できない業務もありました。また、愛媛県庁には多くの部署があり、今回お世話になった企画振興部情報政策課以外の仕事には触れておらず、他の部署にもインターンシップをしてみたいと思いました。

この研修を通して、5日間という短い期間でしたが自分への課題を多く見つけることができました。特に私は、解らないことを有耶無耶にしがちですが、解らないことがあれば積極的に質問する大切さを学びました。また、自分の行動に責任を持って生活していきたいと感じました。今回学んだことを生かして、大学生活を有意義に過ごしていこうと思います。

最後に、お忙しい中、インターンシップ研修生として私を受け入れてくださった愛媛県庁企画振興部情報政策課の皆様には、温かいご指導のもと、貴重な経験をさせていただいたことに心より感謝いたします。

【74】愛媛県 教育委員会 高校教育課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

人文学部社会学科 3年次生 松岡 美紗

1. インターンシップ研修の目的

一つ目に実際の職場がどのようなものか、大学生の間に経験しておきたいと思ったからです。そのなかで自分の社会人スキルがどの程度あるのか認識し、不足している部分は職員さんから学びながら改善していけるようにしていきたいと考えておりました。また、学校事務職員は自分が将来就きたい職業のひとつなので、自分が想像している通りの職業なのかを研修をしていく中で見つけていきたいと思っています。

2. インターンシップ研修先の選択

私は官公庁志望だったので、その業種中心に選択して行きました。インターンシップの企業説明会に来ていた官公庁は、愛媛県庁と松山市役所がありましたが、自分の現時点での志望先が学校事務だったこと、個別説明会で職員さんのお話を伺ったときに県職員と県民との距離の近さを感じ、自分の想像と異なっていたので、より興味を持ちその職業のインターンシップの受け入れをしている愛媛県庁に決めました。また、学校事務職員が学校においてどのような役割を担っているのかを知りたいと思ったため選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月1日(火)～8月7日(月) (土日除く5日間)

勤務時間：8:15～16:45 (30分休憩)

8月1日(火)	オリエンテーション 銀行に同行 事務作業
8月2日(水)	事務作業 資料整理 データ入力
8月3日(木)	事務作業
8月4日(金)	事務作業 データ入力 資料整理

・1日目

初日は、まずオリエンテーションをしました。公務員とはどういうものなのか、県職員はどのような立場であるべきなのか、心構えなどを教えていただきました。また、学校事務が学校の中でどの立場にいて業務をしているのかを学びました。学校の事務職員は学校の教育活動が円滑に行われるように人事、給与や会計など様々なことを取り扱っており、少人数で学校を管理している責任ある仕事だと思いました。そのあとは銀行に同行させていただきました。初日は1日だったこともあり、処理することが多かったです。銀行には毎日異なる人が行っており、固定ではないそうです。少人数で事務作業をする分、ほかの方との連携が必要だと改めて感じました。午後は事務作業が中心でした。封筒の住所印をし、のり付けをしました。このほかにも電話対応に関して教えていただきました。初日はとらなかったのですが、明日からとるので緊張します。

・2日目

午前中は事務作業をさせていただきました。銀行に持っていく伝票に学校名と住所を判子でいれていきました。二日目は初日に教えていただいた電話応対を実際にやりました。アルバイトでも何度かしていたので、大丈夫だと思っていたのですが、いざ電話がかかってくると緊張してしまい、何度も電話を取ることができませんでした。職員さんが励ましてくれ、つまずいたら助けてくれると言ってくださったので、午前中の間になんとかとれるようになりました。ですが、取れて最初のフレーズが言えても、そのあとに電話の相手が名乗って用件を伝えてくださるのに、頭に入ってこず何度も聞き直すことがありました。その行為が相手に対して失礼なのではないかと職員さんに尋ねてみると、聞き取れなく曖昧にしたまま伝えた方が、逆に迷惑をかけるから聞くのは大丈夫だよと言ってくださりました。仕事を早く完璧にこなすためには曖昧にしていることをなくして確実な情報をしっかり伝えていくことが重要なのだと改めて思いました。

午後は、学校に届く大学や専門学校の資料の整理をしました。届いたものは進路資料室という部屋に学校順に整理しています。私も、学生時代には何度も使わせていただいた場所です。たくさんある大学の資料を、いつ・どのようなものが届いたのかということを記録し、

そのあとに国公立・私大を都道府県別に並べていきます。膨大な量の資料をきれいに管理できているのは終わりが見えず大変でしたが、それを生徒が活用してくれると思うとやりがいがあると思いました。

・3日目

一日中事務処理をしていました。初日、二日目と同様伝表の記入や学校で扱う書類を整理するためのファイルのインデックス作成、学校で管理しているものが順番通りになっているのかの確認をしていました。何度か同じ業務をしているので慣れてきたように思います。

・4日目

午前中は事務処理、午後はデータ入力と資料の整理をしました。四日目は電話対応に加え窓口対応もさせていただきました。郵便物を受け取ることや学校に訪問してきた方の対応をしました。高校は人の出入りが激しく、学校を訪れたらまず事務室にいらっしゃるののでその方に失礼の内容に対応をしなくてはならず、アルバイトで接客をしているので人と関わるのは大丈夫なのですがとても緊張しました。余裕をもった的確な対応ができるようにしていきたいです。

・5日目(最終日)

最終日は一日中事務処理をしました。伝票の記入とインデックスを付けました。午後はデータ入力をし、資料整理をしました。何日かお仕事をさせていただいたので要領もつかめてきて、どのようにすれば仕事がスムーズに進むのか考えながら作業ができるくらい余裕ができたように思います。ひとつひとつの仕事に責任をもって間違いもなく取り組めるようにしたいです。

4. インターンシップ研修を終えて

5日間という短い間でしたが、とてもいい経験ができました。また、目的としていた社会人スキルがどの程度あるのか認識できたのでよかったです。電話・窓口対応やマナーはまだまだダメで落ち着きがなく、常に相手に緊張や焦りが伝わっているように思ったので、余裕ある行動ができる社会人になりたいです。また、私は将来事務職に就きたいと考えており、事務の仕事は実際どのようなことをするのか曖昧でしたが、今回のインターンシップ研修のおかげでわかることができました。学校事務という仕事は一見地味に見えますが、学校を運営していく上ではなくてはならない存在で、事務職員がいるからこそ教職員の仕事がうまくいき、学校がまわっていくのだと思いました。少人数でありながら学校全体のことを管理していくので、責任は重いし楽な仕事ではありませんが、懸命に業務をされている光景を見て、自分も職員さんたちのようになりたいと思いました。短期間ではありましたが、多くのことを丁寧に教えてくださり、また学校事務職員になるまでにどのようなことをしていたのか、公務員試験に向けてどのように勉強をしていたのかなども聞かせていただくことができ貴重な経験をさせていただきました。数多くのご迷惑をかけたと思いますが、温かく皆持ってください充実したインターンシップになりました。愛媛県立松山南高校の事務職員の皆様、誠にありがとうございました。

【75】愛媛県 中予地方局 地域政策課

〒790-8502

愛媛県松山市北持田町 132 番地 中予地方局

法学部法学科 3年次生 弘田 佳之

1. インターンシップ研修の目的

私が今回、インターンシップに参加しようと考えた理由は3つあります。1つ目は、私は将来公務員として働きたいと考えており、その仕事や職場の雰囲気を経験して知っておきたかったことです。仕事の内容はホームページを見たりするだけでは、限界があると感じていましたし、実際に働いている職員の方のお話を聞いてみたいと思っていました。2つ目は、私は今までの大学生活でこれといった活動をしておらず、もっと積極的に物事に取り組みたいと思ったことです。3つ目は、1年後に迫る就活に向けて、仕事について真剣に考えておきたいと思ったことです。仕事について深く考えたことがあまりない今の自分自身に危機感を感じ、このままではいけないと思い、自分を成長させたいと思い参加しました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は将来地元の高知県に戻り、公務員として働きたいと考えています。そのため高知県の自治体のインターンシップに参加することも考えたのですが、合同説明会で愛媛県の施策を知って興味を持ちました。また私は以前から地域振興に興味があり、地域振興は高知県でも愛媛県でも重要なことだと考えており、高知県以外の県の取り組みを見てみることも勉強になると思いました。そこで、市町連携、地域活性化事業の支援をしている中予地方局地域政策課を選択することにしました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：2017年8月4日（金）～2017年8月10日（木）の5日間

研修日	研修内容	研修場所
8月4日（金）	オリエンテーション、中予地方局庁舎案内、地域人材起業支援事業審査会の概要説明、会場設営、地域人材起業支援事業審査会同席	愛媛県中予地方局
8月7日（月）	施策説明（地域振興係、企画調整係、市町支援係）、若手職員の方との懇談	愛媛県中予地方局

8月8日(火)	県庁訪問(自転車新文化推進室、地域政策課、人事委員会)、選挙啓発活動打ち合わせに同席	愛媛県庁、松山市選挙管理委員会
8月9日(水)	新ふるさとづくり総合支援事業費補助金制度説明、知事とみんなの愛顔でトーク会場設営、知事とみんなの愛顔でトーク傍聴、後片付け	愛媛県中予地方局、松山市青少年センター
8月10日(木)	新ふるさとづくり総合支援事業費補助金ヒアリングに同席、職員の方との懇談	愛媛県中予地方局

初日は、地域人材支援事業審査会に同席させて頂いて、地域おこしに尽力されている地域おこし協力隊の任期を終えた方の事業に補助金を交付するかどうかをプレゼンを聞いて審査するものでした。その審査の中で、事業のターゲットの明確性、事業を続けていくためにどれくらいの収益を見込めるか、公益性があるかなどが審査のポイントになっており、プレゼンを聞いて、熱意はすごく伝わってきても審査のポイントを満たしているか微妙な事業もあり、改めてお金を動かすには審査する側は厳しくなければならぬと感じました。2日目は、台風が接近していたこともあって、予定されていた会議が中止となり、急遽、若手の職員の方と懇談しました。普段はこのような機会はないので、とても貴重な機会でした。その話の中で、今まで自分が疑問に感じていたことを質問することができましたし、仕事の内容を聞くこともできました。今までは知らなかった業務もあったので驚きもありましたが、そのおかげで、すべてではありませんが、仕事の内容を知るという目的を達成することができました。3日目は、県庁訪問で自転車新文化推進室、地域政策課、人事委員会の方からお話を聞かせて頂きました。自転車新文化推進室の方からは、愛媛県が進める自転車の取り組みについて聞き、自転車の文化を広げるためにステージ別に施策を進めていることが印象に残りました。地域政策課の方からは、主に移住についてのお話を聞きました。その話の中で、その場所に定住してもらうためには、仕事がないとダメだし、移住者一人一人が必要としているものが違い、自分が想像していたよりも定住してもらうことは難しいことだと強く感じました。人事委員会の方には、どのような人材を求めているのかを聞かせて頂いて、今の自分は、もっといろいろなことに興味を持って、積極的に行動しなければならないと感じました。今後の大学生活の中でそれを課題として改善したいと思いました。午後からは松山市選挙管理委員会を訪問し、選挙コンシェルジュの方と若い世代がどうすれば選挙に行くのかについて議論しました。その話をする中でどのような啓発活動をすれば効果があるのかを予算の範囲の中で考えなければならぬため、企画力も必要だと感じましたし、選挙について深く考えることができました。4日目は、知事とみんなの愛顔でトークを傍聴させて頂いて、高校生の意見や質問を聞いていて、自分が気付かなかった角度からの意見もあり、とても新鮮でしたし、このような機会があることは市民や県民の意見を反映させるためにとっても重要なことだと感じました。5日目は、主に新ふるさとづくり総合支援事業費補助金のヒアリングに同席させて頂きました。今回は

久万高原町の事業についてヒアリングを行いました。補助金を交付するためには要綱を満たしておく必要があり、きちんとした計画でなければならないと感じました。また、補助金を交付するためには、厳しく審査しなければならないことを強く感じました。

4. インターンシップ研修を終えて

今回インターンシップに参加してみて、職員の方のお話を聞いたりすることが中心だったのですが、その中で特に強く大事だと感じたことがあります。それは、一つの係や部署で施策を進めるのではなく、他の係や部署と緊密に連携することです。今までの私は、漠然とした公務員のイメージしかほとんどなく、例えば、防災なら防災、観光は観光のようなイメージだったのですが、今回のインターンシップでその考えが変わりました。一つの施策を進めるにしても、もし何かの変更があった際に、一つの部署しか知らず、その連絡が他の部署に届かなければ、混乱が生じてしまうと感じました。また、地域振興については、各市町でできることには限界があり県が支援しなければならないことも多くあることを学びました。お話を聞くことが中心でしたが、自分の課題も見つかり、仕事の内容や職場の雰囲気も知ることができたとても身になる充実した時間でした。最後になりましたが、お忙しい中、時間を割いてお話を聞かせて下さった職員の皆様、中予地方局の皆様、本当にありがとうございました。

【76】愛媛県庁 経済労働部 観光物産課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目4番地2

法学部法学科 3年次生 山本 優花

1. インターンシップの研修の目的

私がインターシップ研修に参加しようと思った理由は、3つあります。

1つ目は、自分についての現状把握をするためです。実際の現場で活動することによって、自分にはどういう役割が向いているのか、また自分に足りない部分や強みを知りたいと思いました。さらに、自分が今後の学生生活をどのように過ごすべきか考えなおし、次へとつなげたいと思いました。

2つ目は、自分が将来の仕事にしたいと思っている仕事で必要とされるものを、自ら感じるためです。インターシップに参加し、その仕事に携わることで、その職業で必要とされる知識や、取り組む姿勢について、身をもって体感することができると思ったからです。

3つ目は、業界理解を深めることです。これまではインターネットや合同説明会、パンフレットの情報をもとに業界を想像していました。しかし、インターシップを通して、実際にその仕事を体験することによって、より確かな業界理解ができると思いました。

2. インターンシップの研修先の選択

私は、将来、地方公務員になりたいと考えており、特に愛媛県庁を強く志望していました。しかし、パンフレットや、合同説明会だけでは、イメージが少しあいまいでした。そのため、どんな仕事をしているのか、また、どのように仕事をすすめているのか実際自分の目で見てみたいと思いました。とりわけ、私が観光物産課を選んだことにも理由がありました。この部署でのインターシップ研修内容は、松山まつり、伝統工芸品大賞の補助でした。

一つの理由には、以前、松山まつりに参加した経験があり、あのような大規模のイベントを開催するには、どんな準備や打ち合わせがなされているのか知りたいという思いがあったからです。大きな理由は、仕事として一つの企画を提案したり、イベントを開くにあたるまでには、どのような過程でなされているのか知りたいと思ったからです。私は、サークル活動で、学生主体で企画を作り、イベントを開催しています。学生にできる範囲の活動ではありますが、多くの場面でイベントを開催するという難しさを体感してきました。そのため、愛媛県のような企業や人が関わる大きなイベント、企画を立ち上げるには、ど

のようなことがなされているのか見てみたいと思いました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間 8月7日(月)～8月11(金)、14日(月)～17日(木)

研修時間 8時30分～17時15分(うち1時間休憩)

日付	業務内容
8月7日(月)	県庁内配布のお弁当チラシ作成、いよ観ネットのホームページ作成
8月8日(火)	いよ観ネット、伝統工芸大賞の名簿入力、通送のお手伝い 松山市役所の別館に付き添い、サイクリング名簿の住所確認
8月9日(水)	いよ観ネットの作業、通送のお手伝い、松山まつりの衣装準備
8月10日(木)	いよ観ネットの作業、議会準備、伝統工芸品取材同行
8月11日(金)	松山まつり参加
8月14日(月)	いよ観ネットの作業、通送のお手伝い、松山まつりの片づけ
8月15日(火)	いよ観ネットの作業
8月16日(水)	いよ観ネットの作業、日米学生会議参加
8月17日(木)	いよ観ネットの作業、伝統工芸品取材同行、お弁当のチラシ作成

<1日目>はじめに、県庁内の案内をしていただき、そのあと、県庁内に配布する新居浜市のお弁当販売のチラシ作成を任せられました。午後からは、通送の手伝いや、いよ観ネットという愛媛県の有名な観光ホームページの作成をさせていただきました。そのホームページをリニューアルするために、「いやしの南予体験プログラム」という南予地方で行われている体験プログラムの紹介を入力するというものでした。体験プログラムが約150個あり、その内容や場所、詳細などを入力していきました。このような南予を満喫できる体験プログラムが150個もあることに純粋に驚きましたが、南予について知るよい機会になりました。

<2日目>午後からは、松山まつりの準備のため、松山市役所の別館へ同行させていただきました。私も、松山まつりに踊り手として参加させていただけることになりました。そのため、業務終了後、大会議室で職員のみなさんと松山まつりの練習に参加させていただきました。

<3日目>道路維持課に資料届けたり、新しいいよ観ネットのホームページ閲覧させていただきました。前日と同様、松山まつりの練習に業務終了後、参加しました。

<4日目>伝統工芸品を河原学園の学生さんが取材をしているのに同行しました。四国中央市で、水引を作っている伝統工芸士の方のお宅と一緒に訪問させていただきました。実際に、髪飾りを作っていたり、伝統工芸士の方の生の声を聞くことができました。水引は、昔のものだという勝手なイメージがありましたが、髪飾りや、箸置き、イヤリングなど現代風にアレンジされていて、とても印象に残っています。

<5日目>この日は、研修日には含まれてはいませんが、松山まつりに一緒に参加させていただきました。参加者女性の浴衣の着付けの受付も一緒にお手伝いさせていただきました。

た。

<6日目>いよ観ネットの作業と、通送のお手伝い、松山まつりの片づけを行いました。

<7日目>一日中、いよ観ネットのホームページ作成の続きをしました。

初日から作成していた「いやしの南予体験プログラム」の入力をすべて入力し終わりました。

<8日目>午前中は、いよ観ネットのホームページ作成をしました。

今回は、「南予の祭りと芸能」について約50個のプログラムがあり、その入力をしました。

午後からは、愛媛大学で開催されていた「日米学生会議～愛媛フォーラム～」に参加しました。前半は、県外や海外の方の発表を聞き、後半は私たちも参加し、テーマに沿って県外や海外の方と軽い会話形式のグループディスカッションに参加しました。

<9日目>午前中は、河原学園の生徒さんの伝統工芸品取材に同行させていただきました。

松山市の古川町にある姫てまりを作っているお宅と一緒に訪問させていただきました。取材から帰ってからは、いよ観ネットの作業と、2日間で約50個の「南予の祭りと芸能」プログラムを入力し終わりました。県庁内で配布する大洲市のお弁当のチラシも作成しました。

4. インターンシップ研修を終えて

はじめは、皆さんに迷惑をかけたり、失敗をしないようにという気持ちで、緊張と不安を抱えていました。積極的に動くことを意識して、インターンシップに臨みましたが、やはり、はじめの方はどうしたらよいかわからず、自分から動けていないと感ずることが多かったです。少し仕事に慣れてきてからは、自分の中で「これは今日の午後までに終わらせる。」など目標を決めて、取り組んだり、わからないことがあったら素直に聞きに行くように心がけました。すると、職員の方とも話せる心の余裕が少しできて、公務員試験のアドバイスや、県庁を目指した経緯など自分が聞きたかった質問をすることもできました。

さらに、私は、「研修中に、自分の強み、足りないところを3つずつ見つける」という目標を立てていました。自分の足りないところと、強みだと思ったことを1つずつ上げると、1つ目は、「PCスキルを向上させる」ことです。研修中、パソコンを使うことが多く、もっと普段からパソコンに触れていれば、もっとこの作業が早く終わらせることができたのにと何度も思いました。今後の学生生活では、パソコンを使う機会を増やし、資格を取り、PCスキルを磨きたいと思いました。

2つ目は、「積極的に物事に取り組める」ということです。これは、私のこれからさらに伸ばすべきところだと思いました。研修中のホームページ作成のとき、任されたものをできるだけ素早くこなし、より多くのことを任せてもらえるように、自分の中で、「この時間までに仕上げる」という目標を立てて、仕事に取り組みました。これからもこの姿勢は続けていきたいと思いました。

職員の皆様に温かく迎えていただき、あっという間の2週間だったように思います。この就業体験によって、県職員の仕事をより身近に感じることができ、本当に良い経験ができました。多くの貴重な経験をさせていただき、本当に充実した2週間を過ごすことができました。当初の期間よりも長く受け入れてくださり、本当にありがとうございました。

【77】愛媛県 教育委員会 図書館

〒790-0007

愛媛県松山市堀之内

法学部法学科 2年次生 弘中 里奈

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加しようと思ったきっかけであり、目的は主に2つあります。1つ目は、社会で働くとはどういったことかを知ることです。学生の考える「働く」と社会人の「働く」は違うだろうし、アルバイトとして「働く」と正社員となって「働く」もまた同じではないと思います。その差というものはどうやって生まれ、どの程度違うものかを学ぶことにより、1年後の就職活動に活かせるのではないかと考えました。また、実際の現場で働かれている方々の声を直接聞ける機会というものもそれほどないと考えたからです。2つ目は、自分の強みと弱みを見極めるためです。社会に出るまでにある程度自分のことを把握しておくことも大切だと考えるからです。また、自分の能力がどれほど仕事に生かすことができるのかを知ることにより、残りの学生生活で強みをさらなる武器にするために磨き、弱みは強みと胸張って言えるように磨くことができると考えたからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私のインターンシップ研修先としては、地元である愛媛県に携わるお仕事をしてみたいと思い、愛媛県に応募しました。司書課程もとっているためどういった仕事なのか身をもって経験したいと思い、選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月17日(木)～8月23日(水)

日程	研修内容	研修部署
8月17日(木)	・館内案内・説明 ・一般室カウンター等	相談係
8月18日(金)	・「夏のひみつの図書館たんけんツアー」事務補助 ・一般室カウンター等	・読書振興係 ・相談係
8月19日(土)	・闘病記コーナー見出し作成 ・雑誌の内容細目入力作業	・相談係 ・図書整理係
8月22日(火)	・一般室カウンター等 ・雑誌配架・書庫入れ	相談係

8月23日(水)	・事務補助 ・一般図書室カウンター等	・庶務係 ・相談係
----------	-----------------------	--------------

お仕事の内容ごとに説明していこうと思います。

【一般図書室カウンター】

インターンシップ研修の中でも一番多く経験したお仕事です。

ここでは、貸出、返却、資料検索、利用者カードの作成、パソコン利用の手続きなどを主にしました。貸出・返却・利用者カードの作成はそれほど難しい作業ではありませんでした。資料検索は、利用者によって少しでもその情報があればいい場合や一冊その内容について書かれているものを探している場合などをあらかじめ聞いて調べる必要があったり、書庫にあるものは取りに行ったりとやりがいがありました。パソコン利用の手続きは利用者カード作成よりも容易でした。

【夏のひみつの図書館たんけんツアー】

ここでは、ツアーの事務補助をしました。準備では主に机やいすを運びました。参加者の子供たちが来る頃には受付をしました。報道関係の方も来られていたためその方々の対応をすることもありました。ツアー中には広報・報告書などの記録用に写真を撮っていました。ツアー後にはアンケートの回収や片づけをしました。慌ただしくはありましたが楽しんでできる程度の余裕もありました。

【闘病記コーナーの見出し作成】

このときは、三階にある一般図書室の闘病記コーナーの見出しがはがれやすいためよりよいものにしようということできりかえの作業をしました。業務的には単純作業であったため正確にかつ早くを目標にしました。

【雑誌の内容細目入力作業】

このときは、パソコンを使って雑誌の内容を登録し、貸し出せるようにするという仕事をしました。こちらも闘病記コーナーの見出し作成同様単純作業であり、コツさえつかめばすらすらと進むものでした。実際、すらすら進み、時間が余ったため、書庫の雑誌などが貸し出しできるようになっているか確認しました。昔ならさぞかし大変だったろうと思いますが、今ではパソコンで管理・保存されているようなので作業そのものはそれほど難しくもないという印象を受けました。しかし、利用者がサイトで見られる雑誌の情報は人の手で入力するものです。もしミスをしていたとするとその情報をもとに借りに来られた方が困ることになるかもしれません。慎重にしなければいけない作業だと思い、慎重かつ正確に作業しました。

【雑誌などの配架・書庫入れ】

このときは、主に公報や雑誌の書庫入れをしました。まず、公報の書庫入れです。公報

は元美術館であったところをつかっているということもあり、少し他の書庫に比べて本が置きにくくはなっていました。しまうのはそれほど難儀なものではなかったものの出すのは少し手間がかかりそうな印象を受けました。次に、保管場所のデータの再入力を行いました。場所を移すにおいて、資料検索をしたときに正しい情報が出るようにしなければならないからです。最後に、雑誌の書庫入れをしました。県立図書館は、本を1度受け入れると捨てることはないため、他の図書館と比べても冊数が多いです。そのため、きちんと決められた場所に入れないと本が紛失してしまいます。資料検索にかけても入力データと保管場所が違うと見つけられません。雑誌に限ったことではありませんが正確な場所に入れる必要があります。

【事務補助(庶務)】

このときは、ちょうど備品の確認をする時期だったようで、各部署の方々がそれぞれ探してメモしてくださっていた記録をさらに見やすくするために、付箋をつけたり、メモをしたりしました。他にも複写収入を各階で収集したり、記録をつけたりしました。お金や機密事項にかかわってしまうため多くの仕事はできませんでしたがお仕事の内容を説明してもらうことはできました。

4. インターンシップ研修を終えて

今回のインターンシップでは2つの目的がありましたが2つとも達成することができました。1つ目は、社会で働くとはどういったものかを知ることです。多くの職員さんは司書から数十年間働いておられる方がほとんどでしたが、中には現役時代は行政職をしていて退職後図書館で働いている方もいらっしゃいました。学生の「働く」とは夢のためであったりお小遣いのためであったりしますが、社会人の「働く」とは生きるためや老後のための資産調達の手段であったり、やりがいや毎日を楽しく有意義に過ごすため手段であったりすると学びました。2つ目は強みと弱みを見つけることです。強みとしては、事務作業などこつこつすることが得意ということ。弱みとしては利用者の方には仕事であるため話すことができませんでしたし、職員の方にも仕事に関することは積極的に話しかけることができませんでした。しかし、世間話などになると自分からはそこまで話せなかったように思います。話のジャンルに問わず話すことができるような話術や情報収集が必要だと感じました。今回のインターンシップで学んだことを今後の学生生活で活用・改善していきたいと思えます。収穫の多いインターンシップでした。

最後になりましたが、大変お忙しい中、研修を受け入れてくださった愛媛県立図書館の皆さまには本当に感謝しております。5日間、お世話になりました。ありがとうございました。

【78】 国立大学法人愛媛大学 総務部（人事）

〒790-8577

愛媛県松山市道後樋又 10 番 13 号

経済学部経済学科 3年次生 横山 拓哉

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修の目的は2つあります。1つ目は、インターンシップ研修に参加し、「働く」とはどのようなものかを知ることです。また、社会人の方と1日過ごし、働くことについて知るとともに、アルバイトでは経験できないことが体験できるこのインターンシップ研修で、社会人になることへのイメージを確立したいと思ったからです。2つ目は、現在の自分に足りないものは何かを知りたいからです。実際に社会人の方と働くことによって、仕事する上で必要になるコミュニケーション能力、ビジネスマナー、適応能力など、社会人の方と比べて、何が不足しているのかを明確にし、今後の学校生活で補強したいと思ったからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私は公務員の仕事に興味があり、将来、公務員や公務員に近い職業に就職したいと考えています。以前から大学内でのお仕事である学校事務に興味があり、教員や学生を陰で支える立場になることはどのようなものか気になっていました。学校事務は、将来就きたい職業でもあり、業務内容、仕事の大変さ、やりがいなどについて知りたかったということやアルバイトでは経験できないことが体験できるのではないかと思ったからです。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：2017年8月28日(火)～2017年9月8日(金)【土日を除く10日間】

研修時間：8:30～17:15

研修日程	研修内容
8月28日(月)	研修生受け入れ式、愛媛大学ミュージアム見学、人事課内職員挨拶、GOOD&NEWのくじを作成
8月29日(火)	<労務チーム> 労務チーム概要説明、学内保育所・学童保育所見学、アンケート集計
8月30日(水)	<給与チーム> 給与チーム概要説明、採用手続き（人事異動伺の書類作成）、諸手当の認定（通勤手当の計算）、税金の概要（退職金の手取りを計算）

8月31日（木）	<人事・人材育成チーム> 人事・人材育成チーム概要説明、講義（プレゼンテーションスキルを高める）に参加、部局長の任免・職務付加の書類作成
9月1日（金）	研修生相互の情報交換会 <就業環境推進室> 就業環境推進室の概要説明、健康診断勸奨の書類作成
9月4日（月）	<福利・共済チーム> 職員の福利厚生についての業務説明、雇用保険・健康保険の書類作成
9月5日（火）	先輩職員にインタビュー、内定者向けニュースレターの作成 <安全環境課> 安全衛生についての業務説明、職場巡視、城北地区のAEDの点検
9月6日（水）	<環境整備室> 環境整備室の清掃業務を見学
9月7日（木）	プレゼン発表練習、修正
9月8日（金）	研修生による発表、修了証交付式

【8月29日（火）：労務チーム】

労務チームでは愛媛大学は、教職員や学生が教育や研究、学業、育児が両立できるようにと、学内保育所、学童保育が新設されており、研修中には城北キャンパスにある学内保育所と本部の隣にある学童保育所の方を見学させて頂きました。愛媛大学がそのような取り組みを行っていることを知れたこともよかったです。また、Excel でアンケートの集計をさせて頂き、パソコンスキルや自分の情報処理能力が不足していると痛感させられました。

【8月30日（水）：給与チーム】

給与チームでは初任給や有期契約職員の基本給の額を給与規程にそって求めたり、通勤距離を測り、愛媛大学職員向け HP に沿って通勤手当の計算をしたり、UPDS というシステムを使い人事異動伺を作成しました。また税金に関しては住民税と所得税を求めて、それを退職金から天引きし、退職手当の手取りを求めました。お金に関わることなのでミスは許されませんし、人事異動伺の作成については、個人情報扱うので細心の注意を払わなければならないことや、責任重大であるということが分かりました。

【8月31日（木）：人事・人材育成チーム】

人事・人材育成チームでは面談をしているところを見学させて頂きましたが、面談の話の流れなどを学びました。また、給与チームの研修で作成した人事異動伺の書類を見ながら、部局長の任免、職務付加のリストのほうを Excel で作成しました。

【9月4日（月）：福利・共済チーム】

福利・共済チームでの業務体験は雇用保険手続きの業務の一部である、雇用者保険取得・喪失・氏名変更についての書類を情報にそって記入する業務をさせて頂きました。また、掛け金・負担金の計算や健康保険任意継続者への諸案内の業務である、書類を作成させて

頂きました。福利・共済チームの業務に関して思ったことは、仕事の内容が専門的なことが多く複雑であり、一筋縄ではいかないことを知り、手当の金額を求める計算はシステムでしていますが、細かい部分は自分で計算したりしていること、ミスがないかの見直しも大切だと学びました。

【9月5日（火）：安全環境課】

午前は、採用一年目の先輩職員にインタビューをさせて頂き、内定者の方の不安を取り除く内容を記事にしてニュースレターの作成をしました。先輩の話の話を聞いている中で私自身も学ぶことが多く、先輩の第一印象はまず明るく、質問をさせて頂いたのですが、はきはき話しており、元気がもたらえて気持ちの良くなるような受け答えをしてくださいましたので非常に嬉しかったです。この話の中でビジネスマナーについてのことが多く出ていたと思うのでメールの書き方や言葉遣い・敬語など勉強しておきたいと思いました。

そして午後は総務部人事課とは別の部署である施設基盤部の安全環境課の方でも、研修をさせて頂きました。こちらの部署には技術職の方もおり、男性が多い印象でしたが、避難経路の安全確保、地震対策で設置物の固定がされているかの確認である「職場巡視」を職員の方と一緒にさせていただきました。また、城北キャンパスにあるAEDが正常であるか点検に行きました。こういった確認を怠ることで、何かあったとき人の命が助かるものも助からなくなってしまうというケースもあるので必要不可欠な業務だと思いました。

4. インターンシップ研修を終えて

10日間の研修は非常に有意義なものになりました。研修初日は不安だらけで緊張しっぱなしの状態だったのですが、日を追うごとに研修が楽しくなっていました。研修前に掲げていた目的や目標も達成することができました。学校事務は簡単な事務処理をしているというイメージしかなかったのですが、研修を通して、仕事が多岐に渡っていることを知り、内容も専門的なことが多く複雑であるということや部署やチームによって業務が全く異なることも知り、部署異動も2～3年ごとにあるのですごく大変であるということが分かり、学校を卒業して社会人になっても常に学ぶ姿勢でなければいけないということが分かりました。また、ExcelやWordについて頻繁に使うということがわかったので、パソコン操作スキルや専門知識を今のうちに身につけておきたいと思いました。また、研修中には多くの方の前で司会やプレゼンをさせて頂き、普段大勢の人前で話すことがないのでとても貴重な経験ができました。私のインターンシップ研修のためにお時間を割いてくださった多くの方には本当に感謝していますし、この経験を今後の大学生活や就職活動に活かしたいと思います。10日間本当にありがとうございました。

【79】愛媛労働局

〒790-8538

愛媛県松山市若草町4番地3 松山若草合同庁舎5.6階

人文学部社会学科 3年次生 大内 誠

1. インターンシップ研修の目的

インターンシップへ参加することそのものに対して、今後の自分の考え方や職業選択に影響を与える貴重な体験ができるという確信がありました。私は公務員志望ですが、官公庁に普段の日常生活で立ち入ったりそこで働く方達とお話ししたりする機会がなかなかありませんでした。官公庁で実際に働く方達の気質、空気感を内側から体験してみたいという考えがありました。そしてそれを自分の適性、性格と照らし合わせて今後の就職活動の参考にしたいという目的もありました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は公務員の仕事に興味があり、特にアルバイトをきっかけに人の働き方について強い関心を持つようになりました。合同説明会の段階で労働局を見つけて、第一志望はすぐに労働局に決めました。労働局がどんな仕事をしているのか具体的に知りたいというのもありましたし、日程表を見たところ事務作業が多めになっており、自分は事務作業の仕事をあまりこれまで経験してきておらず、それに適性があるのかどうかを確かめたいという目的もありました。より多くの社会人の方や、集団に触れることが視野を広げることになると思い、様々な部署、施設での研修を体験できるという点でもこの労働局のインターンシップは自分の目的に合っていると思いました。

3. インターンシップ研修の内容

日程は9月4日から8日までの5日間で、1時間の休憩を挟んだ1日7時間の研修でした。比較的座学と事務作業が多かったです。1日目は、午前中は総務部、午後は職業安定部で研修を行いました。総務部でお互いに自己紹介をしてから、労働局全体についての説明を受けました。職業安定部では実際の作業を体験させてもらい、ファイルの中の資料を最新のものに差し替えたり、一般の方に配布する資料の、修正するべき部分がきちんと修正されているかの確認をしたり、書類をコピーしたりしました。その差し替えたファイルは辞書より分厚いくらいの量があり、部屋を見渡すと壁にはそれらがびっしり、机の下などにもたくさんあり、ファイルの中身の内容を理解したうえで窓口に出るのだそうです。二日目は、午前中は労働基準部の研修として、パナソニックヘルスケアへ移動し、工場見

学をさせていただきました。移動中の車内で労働基準監督官の方から、基準監督官の仕事の話をはじめとして、外国人技能実習生のことなど、たくさんのお話を聞くことができました。軽く会社概要の説明を受けた後、工場内を案内してもらいました。現在は健康、医療機器を中心に製造しており、自分だけで血圧を測ることのできる製品は、昔のものに比べて、より少ない血液量でより短い時間、そしてより正確に測れるようになったそうです。工場内には人がほとんどおらず、大きな機械の音が響いていました。そのあとパナソニックの歴史やよりよい職場にしていくための取り組みについてプレゼンテーションを受けました。社会全体で残業等の労働問題が注目されはじめる以前から、ずっと取り組みを積極的に続けています。安全衛生に配慮したシステムを構築したり、不妊治療のために休暇を取ることのできる制度、何かにチャレンジする個人をサポートする制度、ノンコアフレックスタイム制度等、様々な制度を取り入れたりしていました。パナソニックヘルスケアでは、女性が活躍している企業が認定を受けることができる、えるぼしマークを獲得しています。現在愛媛県では唯一の認定企業だそうです。午後は局へ戻り、雇用環境・均等室のことを座学で学び、その後くるみん認定式に同席させていただきました。くるみんは、子育て支援に積極的に取り組む、一定の基準を満たした企業に認定されます。その後認定を受けた企業との懇親会で、書記をしました。漠然と聞くよりも、内容を要約して残そうとする方が後々頭にも残ります。3日目は、午前中は労働基準監督署での研修でした。労基署は4つの課にわかれており、それぞれの役割について学びました。最近起こった事件のこともあり注目されがちなのは企業に抜き打ち調査をしに行く監督課ですが、他の課の方のお話を聞いていると、安全衛生課や、労災課、業務課の業務も無くてはならない重要なものだと思います。異動の仕方だとか労基署の問題点など様々なお話が聞けました。監督課はもともと抜き打ち調査等で現場へ行くイメージはありましたが、労災課でも実際に現場へ行き、どのように事故が起こったか調べて5W1Hをはっきりさせることなど知りました。そのあとは後日説明会で配るための資料を袋詰めしました。午後からは同じ施設にあるハローワークへ移動し、所長にあいさつをして、庶務課長からハローワーク松山の組織概要の説明を受けました。そして障がい者就職面接会に途中から参加し、面接会の進行を補助する実習を行いました。そのあと求人票の入力業務実習として、求人の変更や削除を行いました。企業から送られてきた書類を見ながら実際に打ち込んでいきました。作業自体は慣れれば難しいものでは無いと思いましたが、とにかく量が多そうでした。残りの時間で銀天街GETビルにあるハローワークプラザに移動して、組織概要等の説明を受けた後、学生専用の求人検索をしました。ハローワークやハローワークプラザには用事がないと入りにくかったので、中の雰囲気を知るいい機会になりました。4日の午前中はまたハローワークへ移動し、到着してから雇用保険説明会に参加して、そのあと求人検索の機械を触らせてもらいました。求人だけでなく、愛媛県の職種別の求人数や、求職者が希望する職種ごとの人数の表などもあり、参考になりました。事務希望の求職者がダントツに多かったのが印象的でした。午後からは局に戻り職業安定部での研修で、高齢者の雇用について学び、企業が定年した高齢者を再雇用するようになっているかどうかの書類を

見て各項目が正しく記入されているかチェックしていきました。次に、障がい者の雇用について学び、それぞれの企業が障がい者の雇用率を達成しているかに関する書類をチェックしました。こちらは計算もあり、わかりにくい点は質問して教えていただきましたが、ほかの研修生に比べるとチェックの速さは足りていなかったかと思います。そして次に、求職者支援制度について学びました。CADや溶接、介護職員の養成など様々なコースがあり、無料で授業を受けることができ、さらに訓練期間中や訓練期間後に給付金を受け取ることができます。リーマンショックをきっかけに、雇用保険が受けられない人のためにつくられたのが求職者支援制度です。公共職業訓練の方はほとんどの人が知っていますが、こちらは一般の人への認知度はやや低いようなのもっと広めていきたい、といったお話を聞きました。5日目は一日総務での研修でした。これまでの4日間で学んだことの理解を更に深めました。社会保険、労働保険について、学びました。特に4日目の雇用保険説明会で理解しきれなかった雇用保険について重点的に説明していただきました。また、映像を見ながら、パワハラについて学びました。自分の身近な経験と照らし合わせながら、事例のどういった点が問題か、逆にパワハラにはならない事例なども考えました。最後には一般職と労働基準監督官の試験のことについて説明していただき、5日間の振り返りの感想などをお互いに報告しあって終わりました。

4. インターンシップ研修を終えて

1、2日目は緊張していましたが3日目あたりから落ち着いて研修を受けることができました。終わってみるとあっという間の5日間でした。事務の仕事については、研修を受けてみて向いていると感じました。担当の方からも最終日に事務に向いていると言ってもらいました。そして、目的であった労働局の仕事内容、役割を十分に知ることでもできました。官公庁でも場所によって気質は違い、書類の提出日など細かい部分にもとことんこだわるような官公庁とは違い、労働局は比較的緩いという点は意外でした。自分の元々の考えとしては、特に利潤重視の民間企業では、状況や立場によって弱い立場の人がパワハラを受けたり休暇を取れなくなったりすることが起こりやすいと思うのですが、研修で学ぶうちに、これまでの法や制度への見方が変わり、それらを正して弱い立場の人を守るのが法や制度、ルールだという考えになりました。労働局をはじめとしたさまざまな場所でたくさんの方に関わることができて、自分の理想の社会人像が定まった気がします。5日間ずっと一緒にいた他の二人の個性的な研修生との交流からも気づきがありました。この経験をこれからの就職活動や日常生活に活かしていきたいです。研修中はもちろん、研修前から資料や説明の準備等時間を割いていただいて感謝しています。濃密な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

【80】高知県庁 教育委員会文化財課

〒780-8570

高知県高知市丸の内1丁目7番52号（西庁舎1階）

経済学部経済学科 2年次生 島崎 康輔

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップを受けようと思った理由の一つとして2回生という早い時期からインターンシップというものを経験し、ほかの人より一足早く社会というものを知っておこうと以前から考えていたからです。また私は現在、公務員か民間企業で迷っており、大学1回生のときから、2回生になったら公務員のインターンシップを受けようと思っていました。なので、この2回生で公務員のインターンシップを受け入れたことは本当によかったなと思いました。また社会的知識を早くから取得しておくことで、これからの生活に役に立つと考えたからです。また、私は現在、経済学部にも所属していますが、考古学の分野にも非常に、興味や関心があるため、インターン先が文化財を専門としたところにしようと思っていました。以上の点が、私が今回、インターンシップを受けようと思った目的です。

2. インターンシップ研修先の選択

私がなぜインターンシップ研修で高知県庁教育委員会文化財課を選んだかという、先ほどにも述べたように、私は考古学という分野にとっても興味があり、文化財課は遺跡の発掘調査などを行っている機関でもあるからです。私は小学生の時から歴史という分野にとっても興味、関心があり、成績も小、中、高で他の教科に比べ群を抜くほどできており、また学年でもトップクラスの点数でした。ただその理由だけで、高知県庁を選んだわけではありません。まず、なぜ愛媛県庁ではなく、高知県庁であるかという、私は高知県出身で、2回生という立場ではありますが、現在民間企業と、公務員で悩んでいます。そして、高知県は現在、少子高齢化や過疎化、南海大地震など大きな問題をたくさん抱えています。地元がそのような多くの問題を抱える中で、若者の1員である私がなにか高知県に貢献できないかと考えたのも研修先を高知県庁にした理由の一つです。また一般的に公務員という仕事は、結構、単調な作業が多いと考えている人もいて、具体的な仕事内容はわかっていない人がほとんどであると思います。私もその中の一人です。なので子のインターンシップ研修を1つのきっかけとして、公務員の仕事が少しでも分かって帰ろうと考えたのも1つです。他にも様々な理由がありますが、大まかな理由としては以上の3点として挙げられます。

3. インターンシップ研修の内容

私が受けた高知県庁教育委員会文化財課の研修期間は8月28日（月）～9月1日（金曜日）の5日間の研修日程でした。主な実習内容としては、初日は午前中がオリエンテーション、県庁に入社してから2、3年程経った若手の社員の方の交流会があり、午後は実際にそれぞれが各部署に分かれて実習がスタートしました。私が配属された文化財課の次週内容は、高知城の資料整理、8月29日に行われた市町村担当者会へ向けての、資料の準備、そして施設見学の3点が主な作業でした。2日目は、午前中は高知城資料整理、市町村担当者会準備、午後は市町村担当者会準備、3日目の午前中は市町村担当者会準備、市町村担当者会、4日目の午前中は高知城資料整理、午後は施設見学、5日目の午前中は高知城資料整理、午後は実習報告会という流れでした。

高知城資料整理という作業は、高知城の屋根裏にあった、高知城についての資料の埃を掃き、一冊一冊包装する作業です。なぜこのような作業をするかということ、現在日本には現存12天守という、日本の城の天守のうち、江戸時代またはそれ以前に建設され、現代まで保存されている天守が全国に12ヶ所あります。高知城もその1つであります。高知城は国の重要文化財には登録されているものの、国宝にはなっていません。重要文化財と国宝の違いは、重要文化財は昭和25年（1950）年に制定された、文化財保護法による有形文化財のうち、重要として文部科学大臣が指定したものです。国宝は重要文化財のうち特に優れたものを保護するために与えられた資格のことを指します。なので価値としては、重要文化財より、国宝の方が、歴史的価値が高いということになります。そして最近、現存12天守の城が国宝化されるという動きが高まっています。そして住民の方から、高知城を国宝化させようという声があがってきているのが現状です。

そのような中でどのようなことをしないかといけないうと、国宝なるためには、他の天守閣を持つ城にはない、高知城の特徴や素晴らしい点を過去の資料を文科省に提出し、それが認められて初めて国宝となります。しかし、高知城は1946年12月21日に起きた昭和南海地震によって、天守閣を含め、様々な箇所が被害を受け、1度修復され、その姿が現在の高知城であるため、歴史的価値は他の城に比べると小さくなっています。しかし、住民の方の声に少しでもお答えすることができるように、昔の資料を整理し、その中で、重要な資料を探さないといけません。私はそのような重要な作業を今回させていただきました。すごく貴重な機会で、作業自体は単調ではありましたが、とてもやりがいがありました。そして研修3日目には担当の職員の方が高知県庁に連れて行ってくださり、1つ1つの場所を丁寧に説明していただきました。また4日目の施設見学では、前半に南国市にある埋蔵文化センターという場所で現在「四国の埴輪」という展示会をしており、四国各地から出土された埴輪が展示されていて、松山市の古墳から出土された埴輪もたくさんありました。そして後半は、岡豊城の近くにある駅市民俗資料館に連れて行って下さり、普段入ることのできない様々な場所に入ることができました。とても充実した5日間の実習でした。

4. インターンシップ研修を終えて

今回のインターンシップを通して、私は普段あまりすることのない、目上の方と会話をするということがどれだけ大事であるかを実感しました。そして1つの仕事をこなすのにも様々な知識や経験が必要であると感じました。そして、1番の収穫は、高知城について、深く知れたことで、自分の中で様々な歴史的つながりを改めて実感し、日本の歴史に対して、また一層興味や関心が深まったという点です。私自身今回の目標は達成できたと思います。改めて今回、インターンシップ研修を受けてよかった実感しました。暑い中、高知城やその他、様々な場所を案内し、1つ1つ丁寧に優しくご説明してくださった、文化財課長をはじめ、チーフ、役員の方々には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

【81】 こうち人づくり広域連合 人づくりチーム

〒780-0870

高知県高知市本町4丁目1-35 高知県自治会館4F

経済学部経済学科 3年次生 杉本 匠

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加しようと思った理由は2つあります。

1つ目は、自身の適性を見つけることです。私は将来公務員志望で、そのため現在勉強に努めています。実際に仕事に就く前に仕事場の雰囲気やどのような仕事をしているかを自身の目で知ることができる、またとない機会になると考えたからです。

2つ目は、これから社会人になるにあたり今の自分の力がどれだけ通用するのか、またなにが足りていないのか、どのような力を身に付けなければならないのかを知りたかったからです。これらを知ることによって今後の大学生活をより良いものにしていき、足りない力を伸ばすことで社会に出た時に困らないと考えたからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私が公務員の仕事に興味を持ったのは、中学生時代に読んだ有川浩さんの「県庁おもてなし課」でした。興味を持った原点となった高知県の官公庁に一度足を運んでみたいと思ったことが、インターンシップ先を決める際の決定打でした。他にもこの研修先を選択した理由はいくつかあります。まずは、「こうち人づくり広域連合」が各市町村や県庁から派遣された職員で構成されているということでした。公務員がどういった仕事をしているのか詳しく知らなかった当時の私にとってとても都合の良いもので、実際にたくさんのお話を聴くことができました。次に、合同説明会でお話を伺った際にインターンシップ中に興味のある部署に連れて行っていただけると聴いたからです。自分が興味のある所に話を聴きに行き実際に働いている職員のお話を聴けるような機会はなかなかないと考えたからです。以上の理由で私は「こうち人づくり広域連合」をインターンシップ先に選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月21日(月)～9月1日(金) ※土日は除く

研修時間：8:30 ～ 17:15

8月21日	オリエンテーション、研修の補助説明 研修の見学・実施補助、翌日研修の準備
8月22日	研修受付、研修の見学・実施補助

	研修名簿作り、広報誌配達準備
8月23日	研修受付、研修の見学・実施補助 翌日研修準備
8月24日	前日研修アンケートの集計、研修準備 書類廃棄、高知市役所訪問(人事課、キャリアデザイン説明会聴講)
8月25日	書類廃棄、在書チェック 研修の片づけ、翌日研修準備
8月28日	研修準備、高知県庁訪問(観光振興部) 高知県庁インターンシップに参加(市町村振興課)
8月29日	高知県庁訪問(計画推進課)、研修見学・補助 高知市役所(観光振興課)、研修準備
8月30日	研修受付、研修名簿作り、アンケート集計 研修の資料作成、研修片付け・翌日準備
8月31日	研修受付、研修実施
9月1日	研修受付、研修実施 インターンシップ振り返り・まとめ

〔主な研修内容〕

・研修実施の補助

研修実施の補助は、ハンドマイクを回したり、カメラを使って広報誌などに使用するための写真を撮ったり、資料の配布をするなどといったものです。研修の議事録の記入なども行いました。

・研修見学

研修の補助をしながら研修を受講させていただきました。ここで受講した研修は大学では学ばないことや、統計データの読み取り方など今後に役立つことばかりでとても為になりました。

・研修準備

研修準備では、翌日の研修のために机や椅子を移動させる会場の設営や、研修に必要な資料や備品などを準備するといったものです。Excel を使って名簿作りなどもしました。

・研修実施

講師の先生へのお茶出しや、研修の司会進行、議事録の記入をしました。

・各市町村の訪問

高知県庁や高知市役所の各部署や各課に連れて行ってもらい実際に話を伺う機会を頂きました。現在高知県が取り組んでいる政策や、そこに勤めている職員の方の話を聴くことができ、とても多くのことを学ぶことができました。

4. インターンシップ研修を終えて

私にとって、このインターンシップが行われた2週間はとても貴重でかけがえのない経験となりました。インターンシップに参加することで得られた成果の中で一番大きなものは未だに曖昧だった将来目指したい公務員像が明確となったことです。研修中は広域連合に勤めている方だけでなく、高知県庁や高知市役所の職員の方、実際に各市町村から研修を受講されにきた方々や講師の先生など、とても多くの方々と関わることができました。多くの社会人の方々と関わることによって、考え方の相違や違ったものの捉え方などに触れることで自分自身の価値観や考え方が変わり、とても成長することができました。また職員の方と一緒に業務に携わられたことで憧れや目標を見つけることができ、公務員になりたいという願望がとても強まりました。この気持ちを糧として公務員の勉強に取り組んでいこうと思います。

また、本来インターンシップに参加した目的である2つのことも達成することができました。特に今のままでは社会に出ても通用しないということを痛感しました。まず、やはり敬語や社会人としてのマナーが身に付いていないということです。敬語がすぐに出てこなかったり、敬語の使い方が間違っていたりと恥をかく部分がありました。また研修をこなしていく際に、「インターンシップ生だから」と割り切っていた部分が自分の中であり、職員さんに頼ってしまうことがたくさんありました。自分の中に甘えがあったのだと思います。そういった部分を含めまだまだ社会に出ても通用しないだろうと実感しました。できないこと、足りないことが分かった以上、これからの学生生活を改善していくことによって、約1年後の就職活動や社会に出た後から困らないようにしっかりと身に付けていきたいと思っています。

最初は長いと感じていた2週間も終わってみればあっという間で、1週間のインターンシップでは学べないことも多くあったかと思います。そのような点も含め、2週間のインターンシップは本当に貴重な体験となりました。まずは、インターンシップ生として私を受け入れてくれ、暖かく歓迎して下さった「こうち人づくり広域連合」の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。ここで学んだことを忘れずに、この恩を良い報告をすることで恩返しができるように、慢心せずしっかりと勉強していきたいと思っています。

【82】西条市役所

〒793-8601

愛媛県西条市明屋敷 164

経済学部経済学科 2年次生 浅田 光秀

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は2つあります。

1つ目は、今年で大学生活2年目になりますが、これまで何かに参加するという事はありませんでした。このインターンシップ研修を通して、今までにない経験をしたいという思いや、これからの大学生活への糧としたいと思い、参加しました。

2つ目は、アルバイトはしていますが、アルバイトとは違った角度で社会を見ようと思った事も一つのきっかけです。自分の行動一つ一つに責任が求められる中で、重圧を感じながら仕事に取り組みたかった事もきっかけのひとつです。

2. インターンシップ研修先の選択

第一に、西条市出身という事もあり西条市に所在することが必須でした。今まで公務員には全く興味が無く、あまり就職したいという思いがありませんでした。しかし、あえて自分の興味のない場所に踏み込み、その実態を自分の目で確認しようと思い、西条市役所を希望しました。他にも、花王サニタリーさん等を希望していましたが、西条市役所さんにご縁がありました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月5日～8月11日 7日間

研修先：西条市役所 産業振興課

〈8月5日(土) 1日目〉 企画書作成

産業振興課の職員さんから、西条市の産業についての説明がありました。その後、前年度のうちぬき未来カレッジの企画書や報告書に目を通し、それらを参考にしながら実際にプロジェクトの企画を行いました。

企画を行う中で、PCスキルの大切さ企画立案の大変さを実感しました。また、責任者にひとつひとつ確認をとらなくてはいけない点は、すごいシステムだと思いました。

〈8月6日(日) 2日目〉 カウンセリング、企画書作成

ミートハウスのSさんより、職業カウンセリングをしていただきました。1時間を超え

るカウンセリングでは、自分の適性や自分の性格を再確認することができ大変貴重な時間になりました。自分が、人のために何かをしたいと思っている事に気づかされたことは、意外で驚きました。カウンセリングを受けるのは初めてでしたが、良いものだと思います。

昨日に続き、企画書の作成に取り組みました。普段なかなか使うことのないWordやパワーポイントを駆使し全力で作成しました。職員さんは、イベント毎にこんな事をしているのかと思うと、頭が上がりません。

また、企画書や台本をもとに、運営のリハーサルを繰り返し行い、プロジェクトが成功するよう入念に調整を行いました。

<8月7日(月) 3日目> 台風

台風のため、休日に。ゆっくり休みました。

<8月8日(火) 4日目> うちぬき未来カレッジ1日目

うちぬき未来カレッジ開催にあたり、朝早くから会場の設営、掃除を行いました。その後、軽くリハーサルを行い、受付をしました。

開会式での司会を行ったのち、自己紹介やゲームを交え高校生同士で親睦を深めあってもらいました。その後、バスに乗り愛媛大学に向かいました。バス内でも質問の時間や、ゲームの時間を取り親睦を深めました。まず、樽味キャンパスに向かい、農学部の話聞いた後、植物工場の見学を行いました。大学生ながら、農学部に興味を湧きました。次に城北キャンパスに向かい、社会共創学部の見学を行った後、高校生を引率し愛大ミュージアムの見学を行いました。私も高校生時にこのプロジェクトに参加していた事もあり、高校生に良い時間を作ってあげることができました。

<8月9日(水) 5日目> うちぬき未来カレッジ2日目

うちぬき未来カレッジ2日日も運営や司会をしました。仕事とは何か?という題について考えてもらうために作っていたパワーポイントを駆使し、発表を行いました。高校生みんなも、和気あいあいと真剣に仕事について考えてもらえました。このグループワークを通して、自分も仕事やモチベーションについて再確認できました。

午前中のプログラムが終わり、午後は各チームに分かれ企業訪問を行いました。私は、トップシステムさんと伊予銀行さんのチームを引率しました。企業さんへの挨拶は初体験でとても良い経験になりました。また、企業訪問自体も知らない事を知ることができ高校生と共に、様々な企業について詳しく知る事ができました。また、企業訪問終了後は各チームで発表を行い、自分以外のチームの訪問企業について学びました。高校生主体ながら、大学生も学ぶことができました。

<8月10日(木) 6日目> うちぬき未来カレッジ最終日

最終日は、高校生が各チームに分かれプロジェクトで学んだ事を踏まえ、自分の将来について考えてもらいました。大学生として、自分も一緒に高校生と将来について考えました。

高校生相手に良き見本となりたかったのですが、そう上手くはいきませんでした。そして、

各々発表を行いみんなでお互いの将来を共有しました。高校生であるのにも関わらず、立派な将来を考えていて、プロジェクトを運営した実感が湧きました。その後まとめを終えると、一緒に学んだ仲間にメッセージカードを作成し、お互いの将来を応援しあうなど、このプロジェクトの振り返りを行いました。そして、閉会式、修了証書授与式を行い、プロジェクトの閉幕とし、その後会場の方付けを行いこの日を終わりました。

〈8月11日(金) 7日目〉

インターンシップ研修最終日は、プロジェクトの報告書の作成でした。プロジェクトが終わった後も、振り返り、また来年に繋げるため問題点等を洗い出しました。プロジェクトをやって終わるのではなく報告書を作成するなかで反省点や、良い点を見つめ直す事ができました次回に繋がれると思えました。

4. インターンシップ研修を終えて

7日間のインターンシップ研修は、本当にあつという間に終了しました。産業振興課は西条市の産業に携わっている事もあり、様々な企業さんの方と接する機会も多く大変貴重な時間を過ごす事ができました。うちぬき未来カレッジでは、高校生相手に運営、司会を滞りなく進める事ができ、良い経験になりました。公務員にあまり良いイメージを持っていませんでしたが、今回の研修を通し、クリーンで皆さん西条市の事を思って仕事に取り組んでいる事がわかり、公務員という業種に興味を持つことができました。7日間という長いようで短い期間でしたが、とても楽しく身になるインターンシップ研修にする事ができたと思います。この研修で学んだ事を何かに生かされるよう、これからの大学生に一生懸命取り組みたいと思います。

最後になりますが、お忙しい中研修を受け入れてくださりありがとうございました。西条市役所の皆さまのおかげで、大変貴重で良い時間にする事ができました。本当にありがとうございました。

【83】 東温市役所

〒791-0292

愛媛県東温市見奈良 530-1

経営学部経営学科 3年次生 近沢 勇輝

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修を受けた目的は3つあります。1つ目は将来の不安を減少させることです。将来の私がどのように働いているのか分からないことが不安だからです。2つ目は実際に働くことです。実際に職場に行っておアルバイトとしてではなく、社会人として働くことにより分かることがあると思うからです。3つ目は自分を成長させることです。研修中に自ら動いて働くことで自分が成長できるからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私が東温市役所をインターンシップ研修先に選択した理由は2つあります。1つ目は公務員を志望しているからです。実際に働くことにより、就職したときのミスマッチを防ぐことができると思ったからです。2つ目は東温市役所を選択することにより東温市の良さを知ることができると思ったからです。

3. インターンシップ研修の内容

日付と曜日	内容
8月28日(月)	挨拶、市の概要説明、研修ガイダンス、魅力発見フェーズ
8月29日(火)	発散と共有フェーズ、地域隊の話、市役所内を歩き回る
8月30日(水)	発表用資料作成、業者とのミーティングを見学、写真撮影の勉強会
8月31日(木)	発表用資料作成、横河原ぷらっと HOME で子供たちと交流
9月1日(金)	発表の練習、東温市若手プロジェクト報告会参加、発表本番、挨拶

<1日目> 8月28日(月)

8時30分から8時45分まで総務課から挨拶があり、人事係から全体説明がありました。8時45分から9時15分まで市長から挨拶がありました。9時20分から10時10分まで5日間の日程説明がありました。10時10分から12時まで市の概要説明および研修ガイダンスがありました。12時から13時まで休憩です。そのあと13時から16時30分まで魅力発見フェーズです。横河原でフィールドワークを行いました。フィールドワーク内の目標は横河原の魅力を50個見つけることです。残念ながら目標は達成できずに終了しました。私

は横河原のことをあまり知らなかったため横河原の魅力に触れるいい機会でした。16時30分から17時15分まで日報作成を行いました。

<2日目> 8月29日(火)

8時30分から9時までガイダンスがありました。9時から10時15分まで発散と共有フェーズを行いました。発散と共有フェーズとは昨日のフィールドワークで見つけた横河原の魅力を付箋に書きました。他校のインターンシップの学生と議論をしました。10時15分から11時15分地域隊の話聞きくために東温市の山間部に行きました。古民家や棚田などがあり、気づいていない東温市の良さに気づきました。地域隊の方が「平地だけが東温市ではなく山間部も含めて東温市」言っていたことが印象に残りました。11時15分から12時まで発散と共有フェーズを行いました。12時から13時まで休憩です。13時から15時30分まで横河原で幸せになる3人の物語を作りました。2人は「地区の魅力を活用することで困難な状況から幸福になる人物像」を1人は「地区の魅力を活用することで「野望」を実現できる人物像」を設定しました。15時30分から17時15分まで市役所内を歩き回り、様々な部署の話聞きました。

<3日目> 8月30日(水)

8時30分から12時まで発表用資料の作成を行いました。フィールドワークと発散と共有フェーズから学んだことをまとめました。どのようにまとめるのかが決めれず時間を無駄にしてしまったことが残念です。12時から13時まで昼食です。13時から14時30分まで業者とのミーティングを見学しました。14時30分から15時40分まで写真撮影のワークショップに参加しました。15時40分から17時15分まで再び発表用資料の作成を行いました。発表用資料を作成している途中に職員の方からいくつか質問がありました。その企画を本当に行うのか？行ったら東温市にどのような影響があるのか？どのようなデータが根拠になっているのか？自分自身ではできていたと思っていましたが、甘いと知ることができました。

<4日目> 8月31日(木)

8時30分から12時まで発表用資料の作成を行いました。昨日、言われたことを考えてどのようにすれば伝わるのかを考えて行いました。グループ内でも様々な意見が出てきて時間がかかりましたが完成しました。12時から13時まで休憩です。13時から17時15分まで横河原ぷらっとHOMEに行きました。そこでは夏休みの宿題が終わっていない小学生の手伝いをしました。宿題を終わらせてから小学生と遊びました。最初はなかなか小学生と積極的に関わることができずにいましたが、最後の方では時間を忘れてしまうほど楽しく遊ぶことができました。

<5日目> 9月1日(金)

8時30分から12時まで発表の練習を行いました。発表を行っているときに訂正が必要な箇所が見つかり、訂正をしました。そして発表用資料の最終チェックを行いました。12時から13時まで休憩です。13時から16時30分まで東温市若手プロジェクト報告会に参加しました。私たちと年齢の近い東温市の職員の方がグループ別に意見を発表しているところを見て東温市をより良くしていこうとしている熱意が伝わってきました。16時30分から17時まで5日間で学んだことを発表しました。何回も練習していましたが緊張してしまい、数回嘔みました。17時から17時15分まで総務課長と人事課の方から挨拶がありました。

4. インターンシップ研修を終えて

私がインターンシップ研修に行く前に決めた目標が2つあります。1つ目は「私が将来、働いている姿を想像できるようにする」、2つ目は「より東温市をよくする意見を言えるようにする」の2つです。1つ目の目標は達成できました。職員の方は明るくハキハキと話す方が多かったです。公務員は人と話すことが多いことが分かりました。グループワーク、会議、訪問者への対応などで人と話す機会が多いからです。誰とでも話すことができるコミュニケーション力が必要だと思いました。自分から他人に話しかけて積極的に仕事を行える人物になりたいと思いました。2つ目の目標も達成できました。それは私が必要とされる公務員になることです。私が考えた必要とされる力は5つあります。地域のことを熟知して外部に発信できる力、問題を発見・解決する力、地域の長所と短所を見つける力、コミュニケーション力、企画立案・実行能力の5つです。これらを身に付ければ必要とされる公務員に近づくことができ、東温市をより良くすることができるようになるのではないかと思います。

【84】松山市役所 総務部B

〒790-8571

愛媛県松山市二番町4丁目7-2

経済学部経済学科 3年次生 松田 透和

1. インターンシップ研修の目的

私がこのインターンシップ研修に参加した目的は大きく分けて2つあります。1つ目は私が就職先として第1志望に考えている松山市役所どのような仕事を行っていて、どのような人材を求めているか知ることとイメージとのギャップを知ることです。就職して約40年間務めるので、働く意味をきちんと理解する必要があると考えます。

2つ目は私の欠点・弱さを見つけることです。大学では見つけることができなかった私に足りない点を社会人と働き、比較することで現在、多数ある欠点がより明確になりその欠点を学生の間で修正する必要があると考えました。

2. インターンシップ研修先の選択

私がインターンシップ研修先として松山市役所を選んだ理由としては以前から公務員に興味を持っており、公務員の業務内容や職場の雰囲気を体験できる機会ということと公務員のインターンシップ研修を考え、私が20年間生まれ育った松山に少しでも貢献したいので松山市役所を希望しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月14日（月）から8月25日（金）土日を除く10日間

8時30分から17時15分 休憩60分を含む

研修担当課：人事課、文書法制課、契約課、職員厚生課

【人事課】8月14日（月）から8月16日（水）

1 日目は各都道府県から事前に解答していただいた市役所や県庁ごとの給与平均・平均年齢・東京や大学への派遣のアンケート結果をExcelに打ち込み整理しました。このように他の都道府県にアンケートを取り比較することで改善点を見つけるとおっしゃっていました。データ整理後、扶養手当の書類を番号順に並べ替えました。

2 日目は前日に行ったアンケート集計を基にして給与平均や平均年齢などにおいて松山市役所の位置がどこであるかグラフなども用いてデータを分析しました。データ分析の結果、松山市役所は給与平均・年齢平均ともに平均の位置でした。データ分析後、研修など

に参加するための旅費の歳出を行いました。今回は急な研修であったので予算に含まれていなかったため財政課に歳出の許可を取り、その後会計課でお金の取り出しの許可をいただきました。素早く的確に書類を作り、申請の許可をいただいていたので社会人と学生の差を感じました。

3日目の午前には新採用職員を対象にした研修の準備と運営を行いました。10分前には全員揃い着席していたのでそこでも社会人と学生の差を実感しました。準備終了後、人事課に戻り松山市役所が実施しているイベントの人数・開催月・予算などを大まかに振り分けピボットテーブルを用いてデータ整理しました。イベントを見直すことで予算を抑えることやいつ開催が多いかなど次に繋がることを分析しており、市民から集めている税金を無駄にしないよう工夫を施していました。

【新採用職員フォローアップ研修】8月17日（木）

今年採用となった新採用職員の方が配属された部署の担当業務紹介を行っていただいた。研修に参加させていただき、松山市役所の幅広い仕事内容・種類を知ることができ、新採用職員の方ともお話でき貴重な体験となった。

【文書法制課】8月18日（金）、8月21日（月）、8月23日（水）

1日目は情報公開担当・行政手続担当の業務の内容を説明していただいた後、法規担当において例規検索システムで「官報」記載法令を検索、「例規整備一覧表」の作成・入力、「第7次一括法」で改正された法律名・施行日を確認しました。簡単に言うと官報で国の法律の変更を確認し、松山市の条例に変更がないかを確認する業務です。この業務は職員が仕事をする上で重要なこととなり、法律を理解していないとできないものであり責任が重く押し掛かる業務でした。最後に文書担当において松山市役所に届いた郵便を課ごとに分配してそれぞれの課に配達を行う業務を行い、松山市役所内の郵便の仕組みを理解でき、また文書の廃棄・書類の廃棄のために地下の倉庫にも足を運び、松山市役所の構造を理解することもできました。

2日目は現在松山市役所が行っている就業構造基本調査のデータ整理を行っていただくための雇用面接会場設営を行いました。面接の裏側を見る良い機会であり、面接を受けるときに重要なことを職員の面接官目線でお聞きすることができ、感心してとても参考にすることができました。また、志願者が来られるまでの時間で職員と松山市役所について多くのことを話す良い機会となりました。

3日目は就業構造基本調査のアンケートを取っていただく方の説明会の設営を行いました。年に1回程度の大きな調査に携わることができ、調査の仕組み・意図を知ることができました。

【契約課】8月22日（火）

初めに工事委託の電子入札を見学させていただき、電子入札終了後、工事担当・物品調

達担当・委託担当それぞれの業務説明を行っていただきました。その後、総務部の副部長のお話を聞かせていただき、国・県・市の公務員の違いや松山市役所のやりがいなど貴重な経験を受けることができました。

【職員厚生課】8月24日（木）、8月25日（金）

1 日目は健康管理担当・労働安全衛生担当の業務説明を受け、業務説明後に松山市内の病院の情報整理や技術職の職員が利用する作業着の整理を行いました。職員厚生課は松山市役所で働く職員の体調など衛生面で活動する課でありあまり認知されていませんが、職員のために多くのことを行っていることを知りました。

2 日目は福祉厚生担当で松山市役所の制度を節約のため紙ではなく、電子 mail で送るために word に打ち込みました。松山市役所の制度や保障・部活などを詳しく知ることができました。

4. インターンシップ研修を終えて

私はインターンシップ研修に参加して目的にしていた「松山市役所の仕事内容を知る」、「自分の弱みを知る」を達成することができました。実際にインターンシップで働かせていただくことで利用しただけでは気づかない市役所の取り組みや裏側・働く職場の雰囲気の良いなど多くのことを学びました。また社会人の隣で働かせていただくことで自分の意識や能力の低さなど社会人と学生においての差を実感し、自分の弱さを知り、これからの学生生活で行うべきことを考えることに繋がりました。

これらの学びはインターンシップ研修を引き受けてくださった松山市役所の職員の方々には心から感謝しております。お忙しい中、貴重な機会を設けてくださりありがとうございました。10日間お世話になりました。

【85】松山市役所 理財部A

〒790-8571

愛媛県松山市二番町4丁目7-2

経営学部経営学科 3年次生 山下 あゆみ

1. インターンシップの目的

インターンシップを受けた目的は、自分が興味を持っている業界について理解をするためです。就職活動を前に、自分が将来就きたいと思っている業界について何も知らないというのは就職のミスマッチが起こる原因です。それを未然に防ぐためにも学びたいと思いました。また、働いている人との交流も目的の一つとして挙げていました。学生生活を送る中でなかなか社会人の人とお話をする機会がありません。そのため、この場を借りてたくさんの人と交流し、刺激や影響を身をもって感じることでこれからの生活に役立てていきたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私がインターンシップ研修先に市役所を選択した理由は、将来の就職先に市役所を考えているからです。公務員の中でも市役所を希望しているため、今回のインターンシップで市政を学ぶことで少しでも公務員という職業への理解を深めたいと思い選択しました。市役所の中でも松山市を選択したのは、今現在、松山市に住んでおり、生活している松山に少しでも貢献するためには松山市についてもっと知っておきたいと思ったからです。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月14日（月）から8月25日（金）土日を除く10日間

8月17日（木）は新採用職員フォローアップ研修への参加

研修担当課：市民税課、納税課、資産税課、財政課

『市民税課』8月14日（月）から8月16日（水）

市役所の2階にある市民税課での主な業務内容は、法定資料を各班に振り分ける作業をしました。市民税課の中でも4つの班に分けられており、それぞれ担当区域が違うため班分けをしなければなりません。今回はその作業をさせていただきました。法定資料は段ボール9つ分にもなり、市民税課での研修は3日間でしたが終わりませんでした。法定資料には個人情報がかかっているため、取り扱いには細心の注意が必要でした。今の時期は繁忙期ではないため、単純作業でしたが、繁忙期には窓口前列ができるほど人が来られると

教えていただきました。また、地下に保管されている書類の整理も行いました。保管期間が3年のものであったり、5年のものであったりと書類の種類によっても保管期間が違うため、保存期間が過ぎていないかの確認をしました。あまり入ることのできない場所だったため貴重な体験をさせていただきました。

『新採用職員フォローアップ研修』8月17日（木）

今年入社した1年目の方の研修にインターンシップ生も参加させていただきました。私は今回理財部の研修でしたが、理財部以外の部署のお話しも聞くことができ、実りある1日でした。市役所のすべての部署の方が集まっているので興味のある課の話や体験談は心に響きました。直接、新採用の人と話すことができるので、市役所を志望した理由ややりがいやうかがうことができました。理財部Aでは一人の採用なので、他のインターンシップ生とも交流ができ、お互いの部署の話をしました。業務内容が違うのでとても新鮮でした。

『納税課』8月18日（金）から8月21日（月）

研修当日の朝に1対1で打ち合わせを兼ねて面談を行いました。緊張をほぐすため納税課以外のお話しもしていただき、有意義な時間を過ごせました。納税課は、税金を払いにたくさんの方が来られていました。業務内容は、郵便振替や収納管理について学びました。また、松山大学に配布している税金のチラシのイラストを考える作業もありました。あまり税金に関して意識したことがなかったのになかなかアイデアが浮かびませんでした。税金について考えるきっかけになったのでこれからもきちんと払おうと思いました。

『資産税課』8月22日（火）から8月24日（木）

資産税課は主に土地と家屋に分かれています。それぞれ税金の計算の仕方が違うので一つ一つ計算していくのは大変で難しかったです。やりがいはとても大きかったです。実際に法務局に登記を取りに行ったり、空いている土地がどういう状況なのかという現地調査にも同行させていただきました。見に行ってから現場を写真に収め、戻ってきてから印刷をして証拠に残すという一連の流れを体験させていただきました。土地や家屋を図面におこすところから始めるので手順は他の課より多く感じました。家屋がなくなったり、新しく家の建てたりすると、その手続きをしなければなりません。その作業はすべて手作業で間違えてしまうと取り返しがつかないので慎重さが求められました。

『財政課』8月25日（金）

財政課は、税金の流れを把握できる場所です。1年間に使う予算を決めるのもこの課です。税金の使い道についての説明を受けたとき、衝撃を受けました。私は税金の使い道について知っているつもりでしたが、こんなところにも使われているのか、という発見ばかりでした。業務体験はなく、説明を受けるだけでしたが税金について知らないことば

かりだったので知ることができてよかったです。予算を学ぶのと同時に松山市の運営の仕方を理解することができました。

4. インターンシップを終えて

インターンシップに行く前は10日間もあるのかと長く感じていましたが、いざ実習が始まってみるとあっという間で毎日学ぶことがたくさんありました。1日の収穫量は計り知れません。学生生活で挨拶をする機会というのはあまりないのでインターンシップを通して改めて挨拶の大切さを知りました。建物の中だけでなく、外から挨拶が始まっているので挨拶をすることで私は今、この会社の一員であると感じる時もありました。社会に出て働くというのはアルバイトと違うと言われていますが、そのことがよくわかりました。アルバイトでは体験できないような業務内容ばかりでした。部署は同じなのに、それぞれの課で業務内容が全く違うので、違う会社に行っているような気分になりました。私はこの業界に興味があるので知識を深めることができ、今後の就職活動の参考になりました。昼休憩には、職員の方々とコミュニケーションをとることができ楽しかったです。入社1年目の新卒の人から入社10年、15年とベテランの方まで幅広くお話をさせていただきとても刺激を受けました。もっと勉強しようと思わされました。この研修でお世話になった職員の方々に心から感謝いたします。ありがとうございました。

【86】松山市役所 総合政策部 B

〒790-8571

愛媛県松山市二番町4丁目7-2

経営学部経営学科 3年次生 谷口竜星

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した理由は2つあります。1つ目は、公務員の業務内容を肌で感じることです。私は、以前から公務員について興味があり、このインターンシップを通して普段経験することのできない業務に携わることで、具体的なイメージを持つことができると思いました。また、実際に職場に訪れることで職場の雰囲気を感じることができ、今後の学生生活で何をすれば良いのか明確にしたいと思いました。

2つ目は、自分の成長につなげることです。ただ単にインターンシップを行うだけでなく、就職活動に生かせるようにより多くのことを学び今後の生活を有意義なものにしたいと考えました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が研修先に松山市役所を選んだ理由としては、以前から公務員の業務に興味を持ち、特に地元の松山市役所での業務内容や職場の雰囲気を確認したいと思ったので松山市役所を希望しました。総合政策部を選んだ理由としては、松山市を多くの人に知ってもらうために具体的に何をしているのか気になったのと、今年は64年ぶりのえひめ国体だったので国体にかかわる業務に興味を持ったからです。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月14日（月）～8月25日（金）

研修時間：8時30分～17時15分

研修先：電子行政課、シティープロモーション推進課、国体総務課

日付	研修先	研修内容
8月14日（月）	電子行政課	住基ネットワークシステムの資料チェック
8月15日（火）		資料整理、午後から会議に参加
8月16日（水）		WiFi環境のチェック（外での業務）

8月17日(木)	人事課	新採用職員研修の参加
8月18日(金)	シティープロモーション推進課	若者への情報発信について アイデア出し 広報テレビ番組打ち合わせ同席
8月21日(月)		フェイスブック記事作成 (こうげんぶどう)
8月22日(火)	国体総務課	国体関係者のジャンパー分け
8月23日(水)		国体ボランティア準備
8月24日(木)		国体競技準備(弓道)
8月25日(金)	シティープロモーション推進課	フェイスブック記事作成 (中島トライアスロン)

<電気行政課> 初日から3日間、電子行政課で研修を行いました。電子行政課では、膨大な情報が存在しており、セキュリティー管理がしっかりしていると感じました。使用済みのUSBにあるデータはすぐに削除するなど、徹底した管理がなされていました。業務内容としては、電子行政課の主な業務内容を教えていただき、資料の最終チェックを行いました。2日目には情報システムの継続か再構築についての会議に参加させていただきました。会議では、全員の方が納得いくまで話し合いをされていました。かなり激しい話し合いでしたが、市民の税を使って行うものなのでコストを重視しており、内容の濃いものでありました。私もグループワークを行うときはもっと納得のいくまで話し合う必要があると思いました。3日目には、まつやま freeWiFi のアクセスポイントの確認と調査をするため、市役所内と中央公園(坊っちゃんスタジアム、競技場)に行きました。えひめ freeWiFi とは別にまつやま freeWiFi があることを知り、松山市役所が所有している建造物には設置されていることがわかりました。

<人事課> この日は、新採用職員の方と一緒に研修を行いました。初めに、新採用職員の方1人1人から自分が所属している各課の業務内容や、職場の雰囲気などを教えていただきました。ここで、松山市役所ではどのような課があり、どのようなことをしているのか幅広く知ることができたので良かったです。また、新採用職員の方に様々なことを聞くことができたので貴重な時間になりました。

<シティープロモーション推進課> シティープロモーション推進課では、3日間の研修を行いました。ここでは、毎朝松山市に関連のある記事を新聞から切り取り整理しました。その後、都市イメージ向上事業についての説明を受け、若者への情報発信についてのアイ

ディア出しを行いました。近年の若者はテレビも新聞も見る人が少なく、どのようにして松山について知ってもらうのかということをお話ししました。また、松山市のフェイスブック記事の作成も行いました。内容としては、こうげんぶどうの撮影のため農家に実際に訪れたり、中島トライアスロンの映像を見て記事を作成しました。また、広報チームでは、松山市が行っている広報テレビの打ち合わせにも同席させていただきました。実際にテレビの業者の方も打ち合わせにいらっしやって、様々なメディアを使って情報を発信していることが分かりました。シティープロモーション推進課では、常に松山について多くの人に知ってもらおうと試行錯誤していると感じました。

<国体総務課> 今年、64年ぶりに愛媛県で国体が開かれるということもあって、今が一番忙しい課であるとおっしゃっていました。研修内容としては、主に国体ボランティアの準備作業を行いました。具体的には、ボランティアの方が着用するジャンパーの仕分けや、その他当日使用する備品をまとめる作業を行いました。地味な作業が多かったのですが、これも市役所の大事な仕事だと感じました。国体総務課では、外での業務が多く実際にニンジニアスタジアムへ行き弓道が行われる会場の確認も行いました。会場づくりは県と設営業者と話し合っていて決めていると聞きました。国体を通じて、松山市を盛り上げるとともに地域経済を潤し、多くの人に松山市の魅力を知ってもらうという目的をしっかりと持って仕事をされているんだと思いました。

4. インターンシップを終えて

10日間の研修でしたが、あっという間に過ぎていきました。公務員はどのような仕事をしているのかなかなかイメージをつかむことができなかつたのですが、この研修を通じて具体的に知ることができ、貴重な体験をさせていただきました。市役所の中でも様々な課があり、課によって業務内容が全く異なるので市役所内に違う会社がたくさんあるという感じでした。しかし、市民のために働くことは共通しており、それぞれの課で目標を持ち業務に取り組んでいる職員の皆さんの姿を見て刺激を受けました。また、この研修で担当していただいた職員の方に親切にいただき、職場の雰囲気も温かい雰囲気でもとてもやりやすかったです。私は、このインターンシップで松山市役所の業務内容を明確にすることができ、今後の学生生活で何をしていけばいいのか自分の中ではっきりさせることができました。ある職員の方に、学生のうちにできることをたくさん経験し、多くの引き出しを持つことが大事だとアドバイスをいただきました。大学生は、時間に余裕があるので引き出しを一つでも多く持つために残りの学生生活で積極的にさまざまな経験をしていきたいです。

最後になりましたが、お忙しい中、研修を受け入れてくださった松山市役所の皆様、10日間という短い間でしたが、貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

【87】松山市役所 市民部 B

〒790-8571

愛媛県松山市二番町4丁目7-2

人文学部社会学科 3年次生 森田 千晴

1. インターンシップ研修の目的

私が今回インターンシップ研修に参加した理由は、二つあります。

一つ目は、アルバイトも含め、普段の学生生活の中で学ぶことのできないビジネスマナーを身につけることです。

二つ目は、現段階で社会に出て、どれだけのことをできるか知るためです。そして、今の自身の能力を理解した上で、自分を見つめ直し、今後の学生生活をどう過ごすべきか考える良いきっかけになると思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、将来公務員の仕事に就きたいと考えています。特に、市民の方のさまざまな声を直接聞いて、その手助けをしたいと思っています。ですから、今回は、実際の職場の雰囲気や業務内容などを知るためにも、松山市役所の市民部をインターンシップ研修先として選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月14日（月）～8月25日（金）のうち実務日数10日間

日付	実習担当課	主な研修内容
8月14日（月）	タウンミーティング課	業務説明、公金調査の補助、事務作業 タウンミーティングの準備、役所内見学
8月15日（火）	タウンミーティング課	公金調査の補助、タウンミーティングでの 意見実現箇所視察
8月16日（水）	市民相談課	業務内容の説明、量目調査
8月17日（木）	人事課	新採用職員フォローアップ研修
8月18日（金）	市民参画まちづくり課	まちづくり協議会視察 NPOサポートセンター視察
8月19日（土）	タウンミーティング課	久米地区タウンミーティング
8月22日（火）	市民課	接遇応用研修、事務作業

8月23日(水)	人権啓発課	コミュニティセンター視察 人権問題について座学研修
8月24日(木)	人権啓発課	人権問題について座学研修、ふれあいセンター視察、人推協専門委員会見学
8月25日(金)	市民課/人事課	支所見学、サポートセンター・パスポートセンター見学/研修報告会

<タウンミーティング課>

今回は、久米地区で開催されたタウンミーティングに参加することができました。タウンミーティングとは、市長が住民のもとに出向いて直接対話するというものです。実際に、住民が地域内での相談事や市役所に対しての意見などを市長に述べていて、住民が普段どんなことを考えて生活しているのか知ることができました。また、市長は、話がとても上手で、笑顔を絶やすことなく話されていたのが印象的でした。それゆえ、私自身も今後より、コミュニケーション能力を高めていくことが必要であると感じました。

<市民相談課>

市民相談課では、特に量目調査が印象に残っています。量目調査は、スーパーで量り売りされている商品の重さが正確に合っているかどうか、実際に秤を持って行き、商品の重さを検査するものです。すべて、消費者目線で検査をしていると聞き、市民がより良く生活していくためにここまで配慮をしていることにとても驚きました。

そして、消費生活センターや「わがまちメール」、コールセンターについての業務内容等の説明を受けました。「わがまちメール」は、市民から届いたさまざまな意見を市民相談課が一通一通確認し、該当する部署に振り分けて回答してもらい、市長にも全て読んでもらった上で返信するという業務です。メールを見せて頂きましたが、本当に幅広い内容で、改めて市役所は多くの仕事を引き受けているのだと実感することができました。

<市民参画まちづくり課>

午前中に、石井地区のまちづくり協議会の活動に参加しました。内容としては、地域に住んでいるご年配の方が、公民館に集まり脳トレをするというものでした。その時驚いたのは、スタッフの方もご年配の方で、地域の方皆で支え合っているのだなと思いました。私は、地域の方と交流する中で、積極的に話しかけることや機転を利かせることができませんでした。コミュニケーション能力を上げるには、やはり、多くの場数を踏むことが何より大切であると考えようになり、今後の課題にしていこうと思います。

また、午後からは、NPOサポートセンターにて、主な業務内容を聞き、その後、本棚にある本のポップを作成しました。NPOサポートセンターは、多く存在するNPO法人の組織を援助することが主な業務である。私は、今回初めて、NPOサポートセンターの存在を知りましたが、重要な役割を果たしている機関なので詳しく知ることができ、とても勉強になりました。

<市民課>

市民課は、一日目に接遇応用研修として、「傾聴」のしかたを学びました。グループワー

クを通して習ったことを実践し、とても有意義な時間を過ごすことができました。特に自分自身、聞くことは得意であると考えていましたが、最上級の傾聴とは「話を聞いて、相手の世界観が分かるようになることだ」と聞き、自身の概念と全く違っていたので、驚きましたが、聞き上手になるためのこれからの目標ができました。

また、二日目は三津浜支所、サポートセンター・パスポートセンターを見学しました。私は、パスポートをもっていないのですが、パスポートについて大変詳しく知ることができました。偽物との見分けるための工夫や、パスポートの内容を変更する際に気を付けることなど、知識として多くのことを教わることができました。

<人権啓発課>

一日目は、人権啓発課の基本方針等のお話を聞いたり、人権問題に関する座学していただいたり、北条コミュニティセンターにて北条ブロック研究大会という人権に関する大会の資料封入作業をお手伝いしました。人権問題に関する座学は、二日目にも中央消防署にて行われましたが、今まで曖昧だったさまざまな人権問題について、深く知ることができ、自身の考えや意見を発言する良い機会でした。また、二日目に内宮ふれあいセンターを見学し、地域の方が集まって開催された脳トレに参加させて頂きました。ここでも、ご年配の方とお話をしましたが、前回より少しだけ余裕をもって話すことができ、自身の成長を感じられました。

<人事課>

特に、印象に残っているのは研修報告会で、大勢の方の前で話すのはとても緊張しましたが、4分間で自分の研修してきたことをきちんと発表できたので、これからの自分のためにもとても良い経験でした。

4. インターンシップ研修を終えて

今回の研修の目的として、ビジネスマナーを身につける・自分がどれだけのことをできるか知るといふ二つを掲げていました。ビジネスマナーを身につけるは、職員さんの行動を観察していて、言葉遣いや行動などととても参考になり、今後自身でも実践していこうと思いました。また、自分が現段階で社会に出ると、積極的に話すことと大勢の前で意見を述べることに抵抗があると気づくことができました。そして、現代社会に対する知識も不十分だと知ることができました。

今回インターンシップ研修に参加して、自身が大学を卒業するまでに、やっておくべき目標をたくさん見つけることができたと思っています。特に、大勢の人の前で自分の意見を発表する場数を増やすこと、さまざまな価値観を持った人と積極的に交流すること、新聞や本・雑誌を読み自分の知識を蓄えていくこと。この三つを今後の学校生活における目標に掲げて、インターンシップ研修で学んだことを生かしていきたいと考えています。

今回お忙しいところ、研修を受け容れて下さり、たくさんの配慮をして頂き感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございました。

【88】松山市役所 下水道部 A

〒790-8571

愛媛県松山市二番町4丁目7-2

人文学部社会科学科 3年次生 長谷部 涼介

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修を受けるにあたっての目的は2つありました。1つ目は、「社会人になる」とはどういうことなのかを知りたかったということです。社会人の責任や行動などを知っておきたいと思いました。2つ目は、公務員という職業での業務を知りたかったということです。公務員の業務は、アルバイトなどでは経験することのできないものばかりで、知らないことが多い職種でした。それを一つでも多く理解し、就職活動につなげていきたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私がインターンシップ研修先として松山市役所を選択した理由は、就職先として松山市役所を希望しており、松山市役所が取り組んでいる市政について理解したいと思ったからです。その中でも下水道部を選択した理由は、私の住んでいる松山市のことで、下水道のことを全く知らなかったので、このインターンシップで知識を身に付けたいと思ったからです。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月14日～8月25日 土日を除く（実質10日間）

研修時間：8：30～17：15（7時間45分）

研修部署：下水道部 A（下水道政策課、下水道整備課、松山市中央浄化センター、下水道サービス課、下水道施設課、河川水路課、人事課）

【下水道政策課：8月14日】

インターンシップ初日は下水道政策課で研修しました。下水道政策課は、第4次松山市下水道整備基本構想をもとに、下水道普及のために様々な政策を検討しています。午前中は下水道部全般の説明、下水道全体計画、下水道事業（経営）について教えていただきました。午後からは、上野処理区の新規立ち上げについて教えていただき、砥部町訪問、上野処理区の現地視察をしました。松山市の下水道基本から、下水道部全般で取り組んでいること、各課の役割など、詳しく説明していただき、松山市の下水道の現状を知ることができました。また、上野処理区の新規立ち上げでは、砥部町と協力し、下水道を通す事業を

行っていることを知り、自治体同士の事業をすることが非常に難しく、なかなか成功するものではないということも学ぶことができました。

【下水道整備課：8月15日、16日】

2日目は、午前中に下水道整備課での取り組み、工事の設計・監督業務等の説明を受けました。午後から西部浄化センター、北部浄化センター、北条浄化センター、中央浄化センターの視察へ行きました。下水道管の施工方法やマンホールの種類などを学び、下水道浄化センターの場所や役割など、知らなかった多くのことを知ることができました。

3日目は、午前中に私道・柵申請の説明を受け、北条の光洋台へ現地調査に行きました。午後は、南久米町・南吉田町の柵の現地調査、松山地方法務局で土地台帳付属地図などの申請・受け取りの業務を行いました。普通に市が管理している道路では、下水工事をすることに問題ないが、私道となると持ち主の権利が関わってくるので多くの書類が必要となり慎重に調査しなければならないことが分かりました。

【人事課：8月17日】

4日目は、新採用職員フォローアップ研修に参加しました。ここでは、担当業務紹介を新採用職員の方々から聞くことができました。下水道部以外の多くの部署での業務内容を知ることができたのでよかったです。

【松山市中央浄化センター：8月18日】

5日目は、午前中に中央浄化センターの説明、浄化センター内の見学を行いました。沈殿池や反応タンクを実際に見ることができ、その仕組みを詳しく知ることができました。午後には、北部浄化センターで水質検査の立ち合い及び実験を行いました。水質検査とは、浄化センターで浄化される前と浄化された後の水質を比較し、どのくらいきれいになっているのか、異物が含まれていないかを調査するものでした。実験結果から水がとてもきれいになっていたのので、浄化センターの重要性を知ることができました。また、普段扱うことのない薬品や実験機器を扱うことはとてもいい経験になりました。

【下水道サービス課：8月21日、22日】

6日目は、午前中に事業所から有害物質が流れていないかを現地調査しに行きました。午後からは、下水道使用料の入力作業、受益者負担金での地図への登録を行いました。入力作業では、一つでもミスがあると料金が変わってしまい、市長の謝罪会見になる可能性もある業務と聞いたので、社会人の責任というものを感じました。

7日目は、午前中にすみれ野団地での浚渫作業、中須賀ポンプ場見学、宮前川分流域の現地視察を行いました。浚渫作業とは、調整池に溜まった汚泥を処理区に集めるための作業でした。午後は、宅内排水設備検査の立ち合い、文京町雨水貯留施設・持田雨水貯留施設の視察に行きました。貯留施設は、実際に中に入って見て、地下に大きな空間があることにとても驚きました。

【下水道施設課：8月23日】

8日目は、午前中に下水道施設課の業務説明、和泉雨水排水ポンプ場の現場視察を行いました。午後からは、堀江第1雨水排水ポンプ場の現場視察を行いました。堀江第1雨水

排水ポンプ場は新設のポンプ場で、機会が入る前の空間などポンプ場の中身を知ることができました。

【河川水路課：8月24日、25日】

9日目の午前中は、傍示川(中央公園)の視察へ行きました。午後からは堀江雨水幹線見学へ行き、新設した雨水下水道管の中へ入りました。下水道管の中を実際に見て、様々な下水道管への工夫をしていることが分かりました。

10日目は、午前中にながけ崩れ防災対策事業で伊台へ現場視察に行きました。午後からは、人事課の方で、インターンシップ生の報告会がありました。他部署の研修内容などを聞くことができ、とても勉強になりました。

4. インターンシップ研修を終えて

この2週間のインターンシップ研修は、とても有意義なものになりました。研修前の下水道部の仕事に対するイメージは、名前の通り下水道の管理をしているというものしかありませんでした。しかし、今回の研修を通じて、松山市の下水道普及率から、普段はあまり意識していなかった下水道料金、公害や災害に対する事業など様々なことを知ることができました。また、下水道管や貯留施設の中に実際に入れていただくという貴重な経験もさせていただき、下水道に対する意識も変わりました。中でも印象強く残っているのは、防災に対する政策です。災害が起こった時に電気は自家発電機、火はガスコンロといったもので代用できるが、トイレは代用ができないものということで、マンホールトイレというものを取り入れています。災害時にトイレ事情であまり食べたり水分補給をしなかったりという人が増えているそうです。そこで、トイレ専用のマンホールを作ることで問題解決にあたり、熊本の震災の時もとても役に立ったそうです。こういった面からも市民の暮らしを守っているという役割があることを知ることができました。

今回の研修で学んだことをこれからの活動に最大限に生かしていきたいです。今回、お忙しい中、研修を受け入れてくださった松山市役所の皆様、下水道部の皆様に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

【89】松山地方法務局

〒790-8505

愛媛県松山市宮田町 188 番地 6

人文学部社会学科 2年次生 二宮 文梨

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は2つあります。1つ目は、自分の興味のある職種についてより詳しく知るためです。私は、公務員の仕事に興味がありました。しかし、公務員といえば、市役所や県庁と考えていたため、地方法務局の業務内容を知りませんでした。地方法務局がどのような業務を行っているのか具体的に知り、自分の視野を広げたいと思いました。

2つ目は自己分析をすることです。私は、将来に対する漠然とした不安があります。自分の強み、弱みを見つめなおし、大学生活の中で何をしていくべきなのかを発見することで将来に対する不安を少しでも解消できると思ったからです。また、自分を見つめなおすことで、就職活動に向けて意識を高めていきたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、将来公務員になることを視野に入れており、興味がありました。合同説明会で、松山地方法務局について知り、公務員の中にも様々な業務があることを知りました。そのため、公務員という仕事をより知ることができると思い、松山地方法務局を選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月28日（月）～9月1日（金） 合計5日間

勤務時間：9時～16時

〈1日目：不動産登記部門〉

インターンシップの初日ということで、ガイダンスから始まりました。法務局の歴史やどのようなことをしているのか大まかな説明を受けた後、局長などの方々に挨拶をさせていただいたき、法務局内を見学しました。その後、不動産登記について学びました。不動産登記とは、土地や建物の所在・面積や、所有者の氏名などを記録し、一般公開する制度です。不動産取引を安全で円滑に資するための重要な仕事だと感じました。

〈2日目：登記部門・人権擁護部門〉

2日目は最初に、明日のワークショップに向けて人権擁護事務について学びました。その後、権利登記について学び、実際に測量体験をさせていただきました。トータルステーション測量と人工衛星から送信される電波を使って測量するGNSS測量を使わせてもらいました。両方とも設置するのに時間がかかり、また、測った数値で面積を計算しましたが、正確な値が出ず、測量の難しさを感じました。法務局の方は、車の通る道路で測量するため、10分で設置し、測量しているということを知り、大変な仕事だと感じました。その後、登記を保管している場所に見学に行かせてもらいました。膨大な資料が保管されており、驚きました。明治時代の登記や、船舶の登記を見せてもらい、とても貴重な体験をさせていただきました。

〈3日目：人権擁護部門・戸籍、国籍、成年後見部門〉

午前中は、人権擁護課長の方や人権擁護委員会の方々とデートDVについてワークショップを行いました。デートDVについてのDVDを見て討論をするという内容でした。専門の方の前で自分の意見を言うことは初めての体験で少し緊張しましたが、自分の思っていることを伝えられたと思います。しかし、ほかのインターンシップ研修生や、人権擁護委員会の方の意見は、うまくまとめられており、説得力のある意見でした。意見の伝え方が上手く、学ぶことが多く、とてもいい刺激になりました。自分のコミュニケーション能力向上させるために努力しようと感じました。午後からは、戸籍、国籍、成年後見制度について学び、その後、実際に自分の登記されていないことの証明書を発行させていただきました。まず、登記されていないことの証明書があることを初めて知りました。そして、自分の証明書を自分で入力し、発行するという、普段できない経験をさせていただきました。

〈4日目：商業法人登記部門、供託部門〉

午前中に商業法人登記事務について説明を受けました。その後、実際に本物の登記の入力体験をさせていただき、滅多に経験できないことをさせていただきました。午後は、供託について、学びました。供託についてあまり知識がなかったのですが、選挙に出馬するには費用が掛かり、その費用は法務局に預けることを知りました。そして、得票数が一定に達しないと没収されることや弁済供託など新たに知識を得ることができ、とても興味深いと感じました。そして、供託書を書き、入力し、小切手を実際に出す体験をさせていただきました。小切手は、金額が高額になる場合もあります。供託部門の仕事は、ミスの許されないと責任のある仕事だと感じました。

〈5日目：訟務部門〉

まず、訟務事務の説明を受けました。国の利害に関係のある争訟についての裁判では、法務局員が申し立てや主張、立証を行っていることを知り、弁護士のような仕事もしているということに衝撃を受けました。法務局の仕事は、多岐にわたるものだと改めて感じま

した。午後からは、裁判傍聴に行ったあと、20代の局員の方と意見交換をしたり、局長などの方々と懇談・意見交換をさせていただきました。やはり、ほかのインターンシップの学生に比べると、自分の語彙力や、伝える能力が足りていないと感じました。面接のような、緊張感のある雰囲気でも、いい経験をさせていただきました。

4. インターンシップ研修を終えて

この5日間は、私にとってとても充実したものとなりました。以前まで、公務員は主な仕事はデスクワークで、硬いイメージがありましたが、今回のインターンシップで公務員も外に出て測量などの仕事をしたり、裁判に出たりなど、デスクワーク以外の仕事をしていることを知ることができました。また、働いている方は、やさしい方が多く、その中にも適度な緊張感があり、とても働きやすそうなところだと感じました。また、法務局がどのような仕事をしているのか知ることができ、私がインターンシップ研修に参加した目的の1つである、地方法務局の業務内容について知るという目的は達成できました。もう1つの目的である、自分を見つめなおすこともできました。私は、自分の意見を相手にうまく伝えることが苦手だと感じました。今の自分の未熟な意見の伝え方では、就職活動では通用しないと感じ、ほかのインターンシップ研修に参加した学生から意見の伝え方のいい所を感じたので、それを踏まえながら今後の学生生活で、意見を伝える力を鍛えていきたいと思いました。今回のインターンシップに参加して、より公務員になりたい気持ちが強くなりました。まだ、就職活動まで2年ほどありますが、20代の局員の方が「今、様々な経験をするのが大切」とおっしゃっていた通り、今できることを精一杯やろうと思いました。この5日間の貴重な経験を大学生活や就職活動に生かしていきたいです。

今回、大変お忙しい中インターンシップに受け入れてくださった松山地方法務局の皆にお礼申し上げます。5日間は充実したものとなったのも、総務課課長補佐のW様並びに各課の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

【90】丸亀市役所 総務部人事課、教育部総務課資料館

〒763-8501

香川県丸亀市大手町2丁目3番1号

人文学部社会学科 3年次生 近藤 優衣

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修の目的は2つあります。一つ目は、働くということはどういうことなのか知ることです。実際に研修先へ行き、職員の方の働いている姿を見たり、経験したりすることで、将来自分はどのように働いていきたいか考える機会を得られると思ったからです。二つ目は、市役所ではどのような業務を行っているのか知ることです。私は将来市役所で働きたいと思っているので、実際にどのような業務を行っているのか、どのような環境で業務を行っているのかなど体験することで、市役所で働くイメージができ、公務員試験へのモチベーションを高めることができると思ったからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、大学卒業後は生まれ育った地元である丸亀市で就職したいと思っています。そして、できることなら丸亀市役所に就職して、故郷のために働きたいと思っています。そこで、丸亀市役所が、住民のためにどのような仕事をしているのか実際に経験し、知識を深めたいと考え、研修先に希望しました。

3. インターンシップ研修の内容

9月1日(月)～5日(火)の土日を除く3日間は人権課で、6日(水)～7日(木)の2日間は資料館でインターンシップ研修をさせていただきました。

	午前	午後
9月1日(金) 人権課	<ul style="list-style-type: none">・インターンシップにおける業務説明・人権課の業務について説明・様々な人権課題について説明	<ul style="list-style-type: none">・施設見学
9月4日(月) 人権課	<ul style="list-style-type: none">・性的少数者への取り組みについて説明・企画・提案のお手伝い・アンケート集計(実習)	<ul style="list-style-type: none">・チラシ作成(実習)

9月5日(火) 人権課	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画への取り組みについて説明 ・広報についてどのような情報発信ができるか考える(実習) ・男女共同参画の部屋見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン準備 ・プレゼン(10~20分)
9月6日(水) 資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・館内の案内、説明 ・展示品の片付けの手伝い 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示品の片付けの手伝い ・展示室の受付
9月7日(木) 資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・展示品の片付けの手伝い 	<ul style="list-style-type: none"> ・翌週の展示品の準備の手伝い

1 日目の午前中は、まず、人権課でのインターンシップにおける業務の説明を受けました。その後、人権課の業務について(中でも人権・同和施策の概要について)詳しい説明を受けました。また、様々な人権課題や人権に関する法律について(現代社会が抱える人権課題やここ数年の間に施行された人権関連の各種法律の概要について)の説明も受けました。午後からは、実際に市内にある文化センター、児童館などの施設を見学させていただきました。文化センターでは、生活相談、健康相談などの各種相談事業や人権研修、また夏祭りや文化祭、もちつき大会等の地域交流事業、さらには、100円モーニングや体操教室等の地域福祉事業を実施していることを教わりました。

2 日目の午前中は、性的少数者に対する取り組みについて説明を受けました。その後、企画・提案のお手伝い、アンケート調査の集計をさせていただきました。アンケートは、LGBT等性的少数者に対する企業・団体の取り組みに関するアンケート調査でした。午後からは、市民啓発用チラシの作成を行いました。丸亀市では積極的に性的少数者支援の取り組みを行っていることが分かりました。

3 日目の午前中は、まず、男女共同参画社会への取り組みについて説明を受けました。その後、人権啓発の内容についての会議に参加させていただき、私からもいくつかの意見を出させていただきました。市民向けの情報紙の発行や街頭キャンペーン、パネル展、オレンジリボン・パープルリボン等を使った啓発活動を実施することで、多くの人に人権問題について知ってもらうきっかけになっていると思いました。午後からは、3日間のインターンシップを通じて感じたこと、気づいたこと、また人権課題解決のために今後どのような取り組みが必要だと思うかというテーマでのプレゼンを作成し、最後に人権課職員の皆さんの前で、プレゼン発表をさせていただきました。

4 日目の午前中は、まず、資料館内の案内と詳しい説明をしていただきました。その後、公開が終了した展示品の片付けの手伝いをしました。午後からは、午前中の続きと公開中の展示室の受付を行いました。受付をしていると、見学に訪れた市民の方数人から話しか

けていただき、丸亀市の歴史や文化などの話を聞かせてもらえました。インターンシップを通じて初めて市民の方と接することができ、貴重な経験になりました。

5日目の午前中は、前日と同様に公開が終了した展示品の片付けの手伝いをしました。午後からは、翌週から公開される展示のための準備のお手伝いをしました。具体的には展示品の位置を正確に測って決めたり、丁寧に配置したり、照明の位置を確認したりしました。

人権課では、職員の皆様が、市民一人ひとりの人権が尊重される明るい丸亀市を目指して努力されていることがよく分かりました。また、市民の人権意識を高め、理解を得るためには、人権教育と啓発が大切だということも学ぶことができました。

資料館では、郷土の遺産を次世代に伝えるために、様々な活動をしていることが分かりました。また、今回資料館の裏方の仕事を体験させていただき、資料館の業務について知ることができました。

4. インターンシップ研修を終えて

私は今回、丸亀市役所の人権課と資料館の2か所で研修をさせていただきました。

私は、将来市役所で働きたいと思っていますが、実際に市役所ではどのような仕事をしているのか、どのような環境で働いているのかなど、全く想像できませんでした。そこで、インターンシップ研修で、市役所ではどのような仕事をしているのか教えていただいたり、業務を行ったり、実際にそこで働いている人のお話を聞かせていただいたりしたことで、市役所で働くということがとてもイメージしやすくなりました。自分が想像していたよりもずっと大変だなと感じたと同時にとてもやりがいのある仕事だと感じました。

インターンシップ研修で特に心に残っているのは、インターンシップ研修3日目に人権課でプレゼン発表をさせていただいたことです。今まで社会人の方の前でプレゼン発表をする機会は全くなかったのでとても緊張しましたし、不安でいっぱいでしたが、貴重な経験になりました。

今回、インターンシップ研修で学んだことを今後の大学生活での学習意欲の向上に繋がりたいと思います。

最後に、お忙しい中、インターンシップ実習生として受け入れてくださった丸亀市役所人権課、資料館の職員の皆様には、温かいご指導の下、貴重な経験をさせていただいたことに心より感謝いたします。

【91】丸亀市役所 産業文化部文化観光課

〒763-8501

香川県丸亀市大手町2丁目3番1号

人文学部社会学科 3年次生 渡邊 奈菜

1. インターンシップの目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は2つあります。

1つ目は、希望する業種の仕事内容への理解を深めるためです。私は将来、公務員になって地域社会に貢献したいと考えています。インターネットで調べたり人に聞いたりして、公務員の仕事内容をイメージすることは可能でしたが、それだけではなく、実際に公務員の仕事を自分の目でしっかり見て肌で感じて理解したいと思いました。

2つ目は、現段階の自分の能力を確かめることです。今の自分にできること、できないことを明確にして、社会人になるために必要なことは何かを考え、今後の成長に活かしたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

前述のように、将来は公務員として働きたいと考えており、丸亀市役所が現段階での第一志望の就職先であるので、丸亀市役所でのインターンシップ研修を希望しました。希望の就職先がはっきりしており、インターンシップ研修という良い機会が目の前にあるのだから、このチャンスをより有効なものにしたいと考えました。そのため、大学のインターンシップ・プログラムの中から愛媛県内の研修先を選べたにも関わらず、地元である香川県にある丸亀市役所を選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修先：産業文化部文化観光課

研修期間：8月23日（水）～25日（金）、27日（日）

研修内容：各部署の見学、丸亀城サマーフェスタの企画・運営・準備等

<8月23日>

最初に市役所内の各部署へ簡単に見学に行かせていただきました。その後、インターンシップ最終日に開催の丸亀城サマーフェスタの出し物の1つ「子供縁日」の企画・運営を任されることになりました。具体的な内容を他のインターンシップ受講生1名と一緒に考えました。「子供縁日」と最初からテーマを決めてくださっていて、それぞれたくさんの

意見を出せたにも関わらず、上手く内容を詰められないまま1日が過ぎました。企画作りの難しさを感じ、もっと素早く物事を進めるための決断力が必要だと思いました。行き詰った私たちに、“自分たちが楽しければ、お客様も楽しめる”という判断の仕方もある、つまり、お客様のニーズを第一に考え、なおかつ自分たち運営側も楽しめるような企画を考えることが良い企画作りにつながるということを教えてくださいました。

<8月24日>

もう1名インターンシップ受講生が加わり、午前中に前日の反省を活かしながら企画内容を再検討した結果、スーパーボールすくい、ビー玉すくい、おみくじの3つを運営することになりました。

午後からは、効率よく準備を進めるために、役割分担をして作業に取り掛かりました。企画・運営の予算を考慮してスーパーボールすくいは最初から市役所にあった物を使用することにしました。より人を惹きつけるために、ビー玉すくいやおみくじでは自分たちなりに工夫をしました。私はパソコンでおみくじのデザインを考えて印刷しましたが、まだまだパソコンを上手く使いこなせないと感じました。しかし、職員の方が助けてくださったり、場を和ませてくださったりしたので、気負いせず作業をすることができました。前日に増して、想像していたよりはるかにフランクで居心地の良い職場であると思いました。そんな職場であるのには理由があり、文化や観光というものを取り扱うにあたって必要となる発想力や柔軟性を引き出しやすくするために、あえてそのような雰囲気づくりをしているということをお聞きして、仕事に対するプライドと前向きな姿勢を感じました。

<8月25日>

イベント当日のための最終的な準備と確認をしました。午前中は職員の方と一緒に倉庫へ行き、テントやうどん作りに使用する釜などの備品をトラックに積み込みました。その際に職員の方の手際の良さを感じました。自分たちインターンシップ受講生は企画内容を考えたり、行動を起こしたりするときに立ち止まることが多かったのに対して、職員の方々は素早く判断して行動しているように見えました。要領よく行動することが社会人として求められることなのだと感じました。

午後からは、子供縁日の準備物の確認をしたあと、指定のSNSでイベントの告知を行いました。過去の告知の履歴を見て、仕事に対する熱意や努力を感じました。また、休憩中に職員の方が「毎日の仕事の中に自分なりのやりがいを見つけることが大切」とおっしゃっていたことも印象に残りました。公務員という職業に就くことの良さだけでなく、心構えや厳しさも教えていただき、身が引き締まりました。

<8月27日>

イベントの準備のために市役所から丸亀城へ移動する際に職員の方とお話する機会があったので、これまでの異動や職務経験を伺いました。県外の市に出向いて共同で活動した

り、丸亀市のPRを行ったりしたそうです。デスクワークだけでなく、役所の外に出た活動もあり、大変である一方でいろいろな経験ができるため成長でき、やりがいのある仕事であると思いました。

子供縁日の運営は、インターンシップ受講生3名と中学生ボランティア2名の計5人で行いました。スーパーボールすくい、ビー玉すくい、おみくじ、お金の管理など、その時々の様子を見ながらそれぞれの役割を果たせたと思います。臨機応変に対応することを心掛けましたが、お客様が一度に多く来てくださったときに焦って上手く対応できなかったときもありました。ボランティアの中学生やお客様にありきたりの指示や接客はできましたが、もっと人と話す力があれば、多く声掛けができて、より楽しませることができたのではないかと思います。コミュニケーション能力の大切さを改めて感じました。個人的に反省する点はありましたが、職員の方々の支えや4日間共に活動してきた他のインターンシップ受講生との協力もあって、子供縁日は大きな失敗もなく成功に終わることができたと思います。

4. インターンシップ研修を終えて

インターンシップ研修を通して、研修の目的としていた2つのことを達成することができました。実際に自分が仕事を体験したり、職員の方々のお話を聞いたりして、以前より公務員の仕事に対する理解が深まったように思います。そして、4日間という短い期間の中でも、職員の方々が仕事に励む姿や他のインターンシップ受講生の様子を見て、刺激を受けたことで気付くことがたくさんあり、自分の気持ちが大きく変化しました。以前は、働くことに対して漠然とした不安だけがありましたが、イベントの企画・運営を任されたことで、働くことは責任感を持って目の前にある物事に取り組みやり遂げることなのではないかと感じました。責任があるという緊張感が仕事に励む力となり、やりがいや達成感にもつながるのではないかと、働くことを前向きに捉えられるようになりました。また、自分の研修に取り組む姿勢について振り返ってみると、これまで自信が持てず、何に対しても消極的であった自分が、自信がないながらにできることは精一杯行い、積極的に取り組んでいたことに気付いて驚きました。研修がなければ知り得なかった自分の新たな一面に出会うこともでき、大変価値のある機会となりました。今回の研修での気付きや気持ちの変化を無駄にせず、残りの学生生活や就職活動に活かしたいと思います。

最後になりましたが、お忙しい中、研修を受け入れてくださった文化観光課の皆様、貴重な経験をする機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。